

魅惑のスペイン経済 – 成長を支える人・地域・文化と、残る構造的課題 –

住友商事グローバルリサーチ株式会社 経済部 2026年10月2日

Contents

01	スペイン景気の総括	02
	マクロダッシュボード／重点産業モニター	
02	注目テーマ	04
	中南米との繋がり／移民・地域性／観光・産業 スポーツ・文化／金融機関／日本との関係	
03	実体経済・金融動向	15
	GDP・景況感／生産・設備投資／個人消費・物価 雇用・賃金／住宅・建設／外需 財政／金融・市場／信用・銀行	

スペインマクロ経済ダッシュボード（2026年9月時点）

今月の総括



- 内需・サービス・雇用を軸に、底堅い成長が継続
- 製造業の停滞と小売の弱さが景気の重石
- 物価上昇と財貿易赤字の拡大に留意

総合判断（景気モメンタム）

横ばい



内需・サービス・雇用が景気を支える一方、製造業・外需は弱く、景気モメンタムは横ばい

主要マクロ経済指標（景気モメンタム）

注：景気基調＝4四半期比較、足元変化＝前回値比較、足元動向＝短期トレンド比較

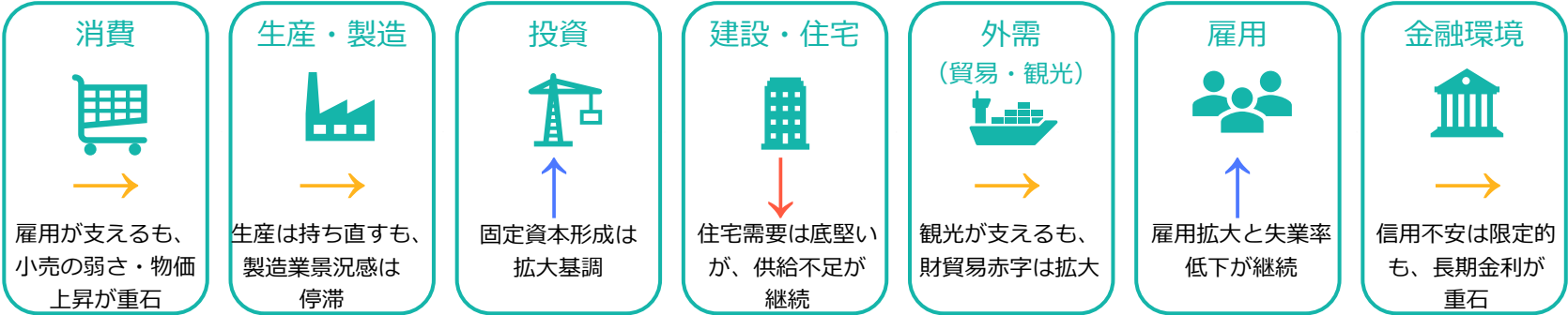
凡例： ↑ 改善（トレンド上向き） → 横ばい ↓ 悪化（トレンド下向き）

注：矢印は各指標のモメンタム評価



景気ヒートマップ（複数指標による分野別総合判断）

凡例： ↑ 改善 → 横ばい ↓ 悪化



景気先行きの注目ポイント

- エネルギー高による家計消費への影響
- 製造業PMIの回復時期と生産動向
- 観光・サービス需要の高水準維持
- 自動車生産・輸出の回復時期
- 雇用拡大の消費・投資への波及

注：
矢印・色は各指標の評価基準に基づく判断、上段は各代表指標、下段は複数指標を合成した分野別判断
各指標は2026年9月時点の最新公表値を使用。公表時期により対象月は異なる

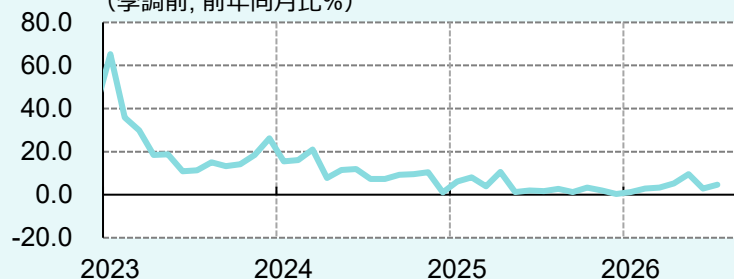
（出所：スペイン国立統計局（INE）、S&Pグローバル、Eurostat、Agencia Tributaria、Bloombergより住友商事グローバルリサーチ（SCGR）作成）

重点産業モニター（2026年9月時点）

主要産業の動向

外国人観光客数

（季調前, 前年同月比%）



訪西需要は高水準を維持し、サービス景気を下支え

自動車生産

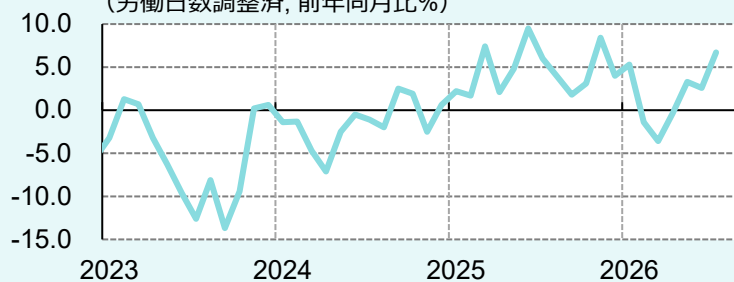
（労働日数調整済, 前年同月比%）



生産は直近持ち直すも、回復の勢いは限定的

電力・エネルギー生産

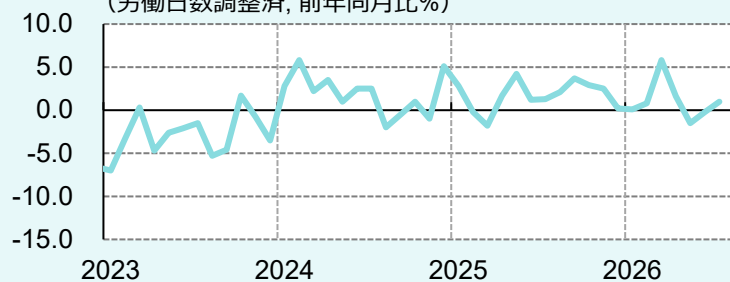
（労働日数調整済, 前年同月比%）



振れを伴いつつ持ち直し、足元はプラス圏で推移

食品製造業生産

（労働日数調整済, 前年同月比%）



生産は横ばい圏で推移し、足元の回復力は限定的

産業モメンタム

注：各指標の直近3か月平均と6か月平均を比較して判定

観光



↑
改善

自動車



↓
悪化

電力・エネルギー



↑
改善

食品産業



↓
悪化

今月の注目ポイント

- 観光・サービス需要が景気を下支え
- 自動車生産は持ち直すも、回復は頭打ち
- 電力・エネルギー生産は足元改善
- 食品製造業は横ばい圏で推移

人・地域・文化からみるスペイン経済

人の力 × 地域之力 × 文化之力
— スペイン経済を形づくる3つの構造的特徴 —

01



人の力

移民・国際労働移動・人口



人口増と労働供給を支える
国際的な人の移動

02



地域之力

17自治州・産業・観光



産業・所得・雇用構造が
大きく異なる地域経済

03



文化之力

観光・食・スポーツ



歴史・文化資産を観光・
輸出・ブランド価値へ



移民・観光が成長を支える一方、高失業や住宅不足、地域差など構造的課題も残る

注：画像は生成AIにより作成したイメージ

人が支える成長 — 移民・国際労働移動

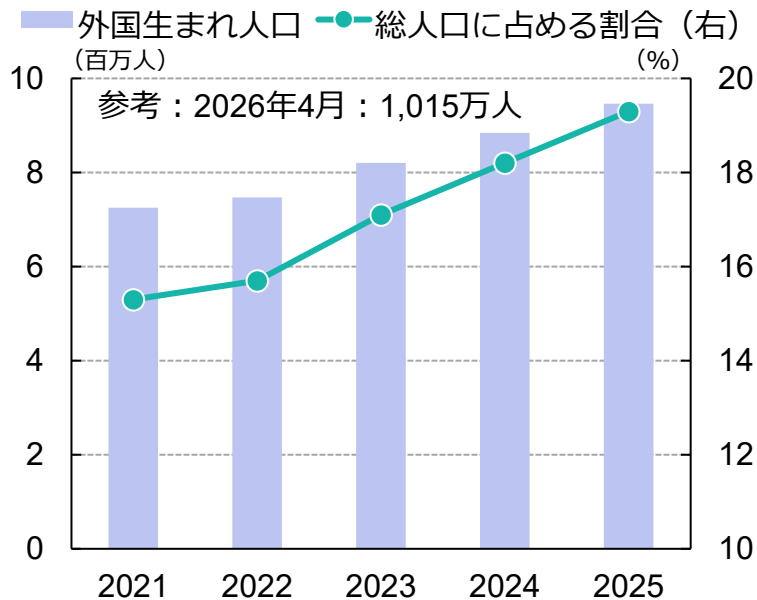
- 外国生まれ人口の増加が、人口拡大と労働供給の両面を支える
- 外国人材は宿泊・飲食、農業、建設などで高い比率を占める
- 雇用拡大への寄与は大きいですが、失業率はなお高く、技能活用や住宅供給も課題

人口を支える移民流入

- 外国生まれ人口は増加が継続
- 2026年4月には1,015万人
- 総人口比も19%台へ上昇

外国生まれ人口と総人口に占める割合

注：各年1月1日時点。外国生まれ人口は出生地がスペイン国外の人口



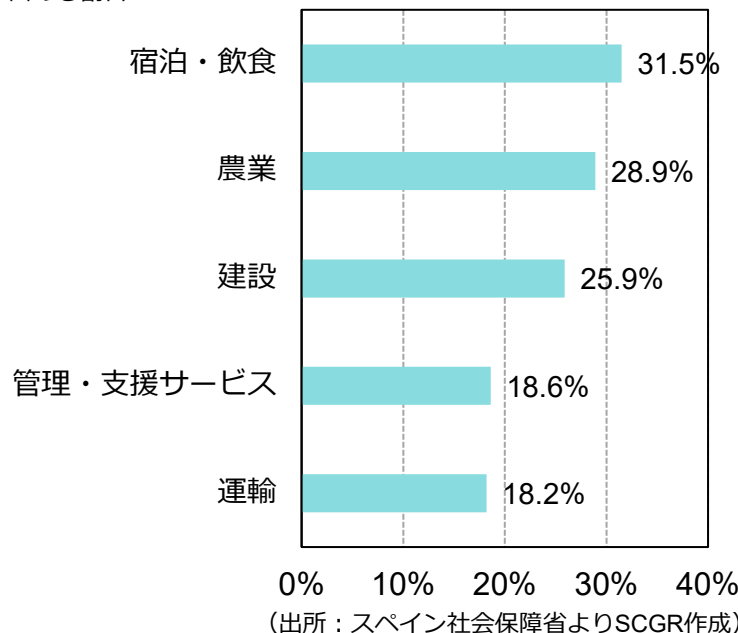
(出所：スペイン国立統計局 (INE) よりSCGR作成)

労働市場を支える外国人材

- 宿泊・飲食では31.5%を占める
- 農業も28.9%と依存度が高い
- 建設でも25.9%と存在感が大きい

主要産業の社会保障加入者に占める外国人の割合

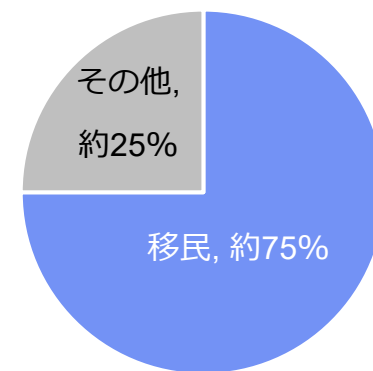
注：2026年6月平均。外国人の社会保障加入者が各産業の加入者に占める割合



成長を支える一方、課題も残る

- 移民が就業者増の約75%に寄与
- 労働供給の拡大が成長を下支え
- 失業率9.9%と需給の緩みも残る

就業者増に占める移民の寄与 (2019～2024年累計)



注：2019～2024年の累積就業者増に占める移民の寄与。IMF推計

失業率 9.9%

2026年4～6月期

若年層を中心に失業率はなお高水準

(出所：IMF、スペイン国立統計局 (INE) よりSCGR作成)

大西洋を越える人のネットワーク — 中南米・フィリピンとの歴史的繋がり

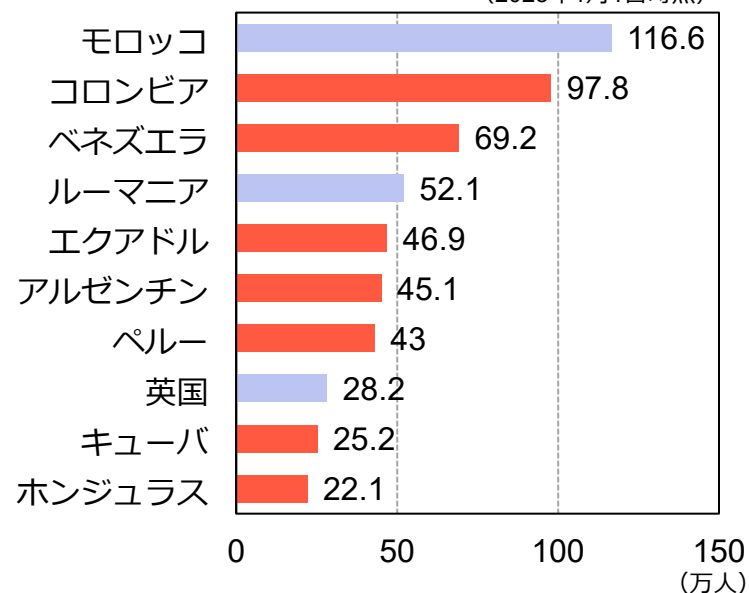
- 共通言語と歴史的関係を背景に、中南米からの人口流入が続く
- 移住・国籍制度と企業活動が、双方向の人・資本の往来を支える
- フィリピンとの歴史的接点も、人的・文化的な結び付きを今に残す

人の往来

- モロッコ出身が116.6万人で最多
- コロンビアは97.8万人で第2位
- 中南米諸国が上位に広く並ぶ

スペイン在住の外国生まれ人口：主要出生国

注：外国生まれ人口ベース。コロンビア、ペルー、ベネズエラでは2023～24年到着者が3割超
(2025年1月1日時点)



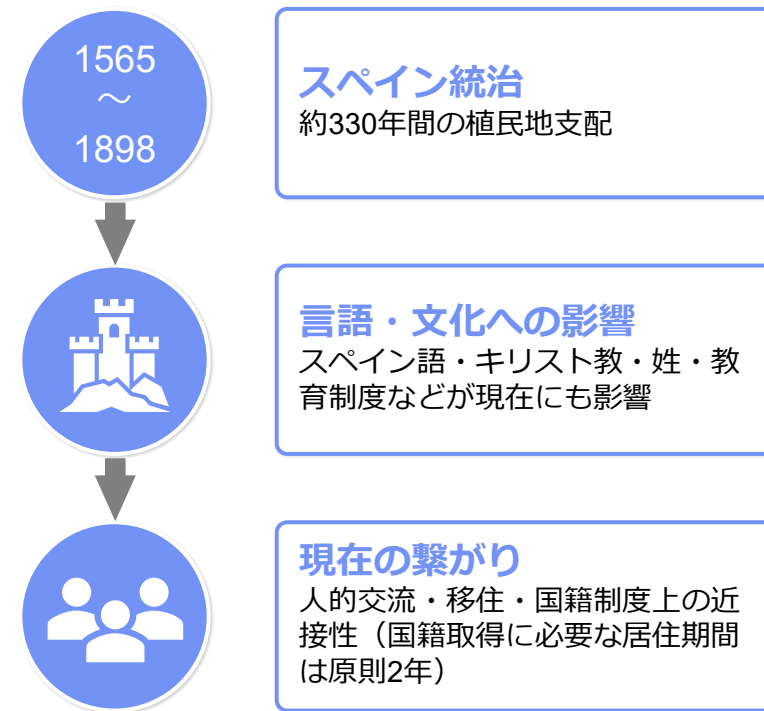
歴史・言語がつなぐネットワーク

- 共通言語が移住時の障壁を緩和
- 国籍取得の居住要件は原則2年
- 企業・投資の往来も関係を補強



フィリピンとの歴史的接点

- 約330年にわたる歴史的関係
- 言語や姓、制度に影響が残る
- 人的交流と制度面の近接性



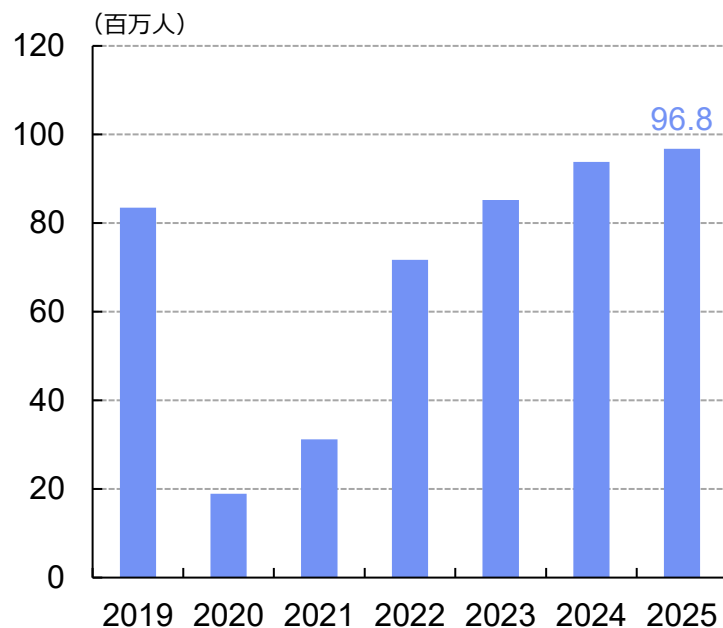
観光大国スペインー 成長エンジンと地域への負荷

- 訪西客は2025年に過去最高を更新し、観光需要の拡大が続く
- 観光はGDPと雇用の各12%超を占め、成長と雇用を広く支える
- 観光需要が地域に集中し、住宅・水資源・季節雇用などへの影響も課題に

過去最高の訪西観光客

- 2025年は9,680万人で過去最高
- コロナ禍前の水準を上回り、拡大が続く
- 2025年も前年比で増加

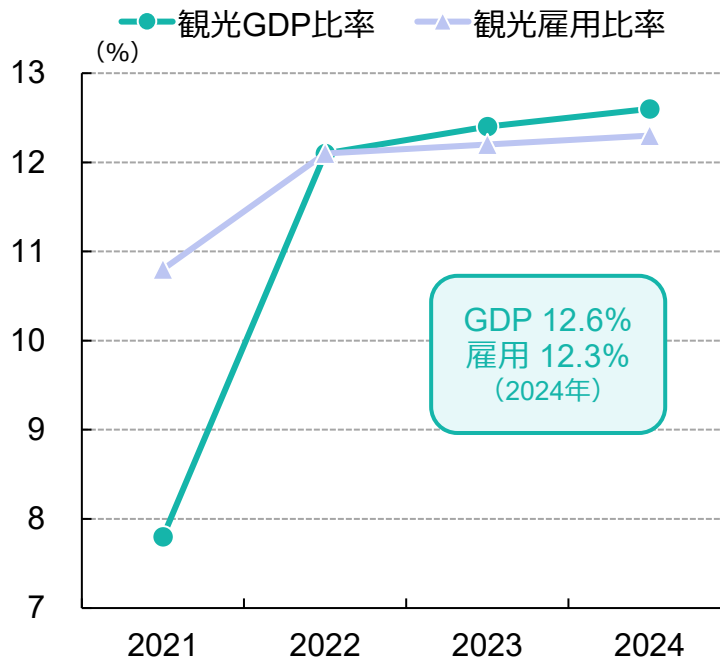
訪西外国人旅行者数の推移



GDP・雇用を支える観光

- 観光GDP比率は12.6%へ上昇
- 観光雇用比率も12.3%を占める
- 客数拡大が経済と雇用を下支え

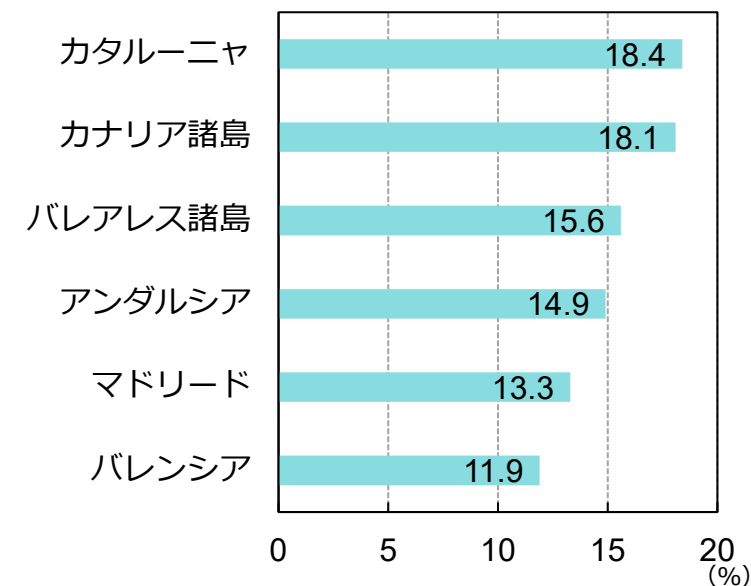
観光のGDP・雇用への寄与



訪問先の集中とオーバーツーリズム

- カタルーニャが18.4%で首位
- カナリア諸島も18.1%と高い
- 上位地域への支出集中が鮮明

自治州別観光支出シェア (2025年)



住宅・混雑・水資源・季節雇用など地域課題も

(出所：スペイン国立統計局 (INE) よりSCGR作成)

17の自治州からみる「複数のスペイン」— 所得・雇用・人口の地域差

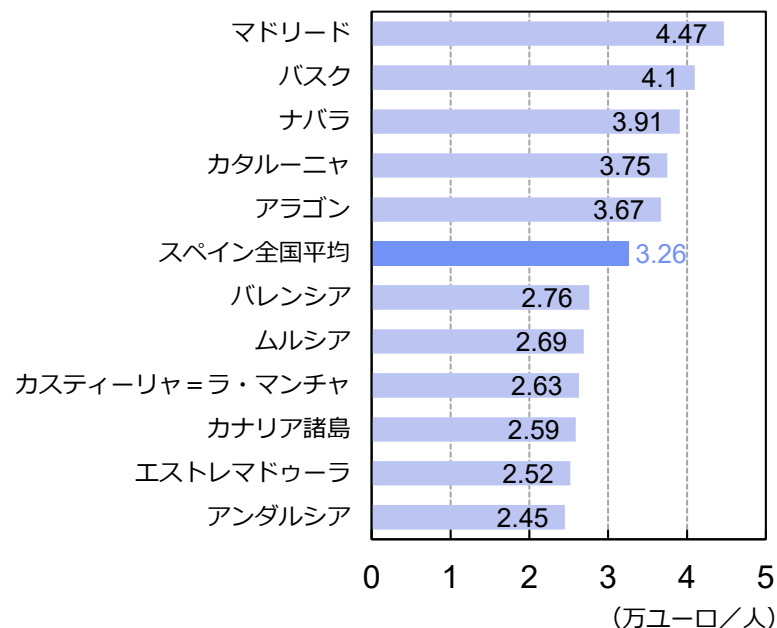
- 所得水準はマドリードや北部が高く、南部との地域差が残る
- 失業率にも大きな地域差があり、全国平均だけでは実態を捉えにくい
- 人口増は地中海沿岸・島嶼部で目立ち、所得・雇用とは異なる地域構造を示す

所得の地域差

- マドリードは4.47万ユーロで首位
- バスク、ナバラも高所得圏を形成
- 全国平均3.26万ユーロとの差が大きい

自治州別1人当たりGDP（2024年）

注：上位5地域、下位6地域および全国平均を掲載

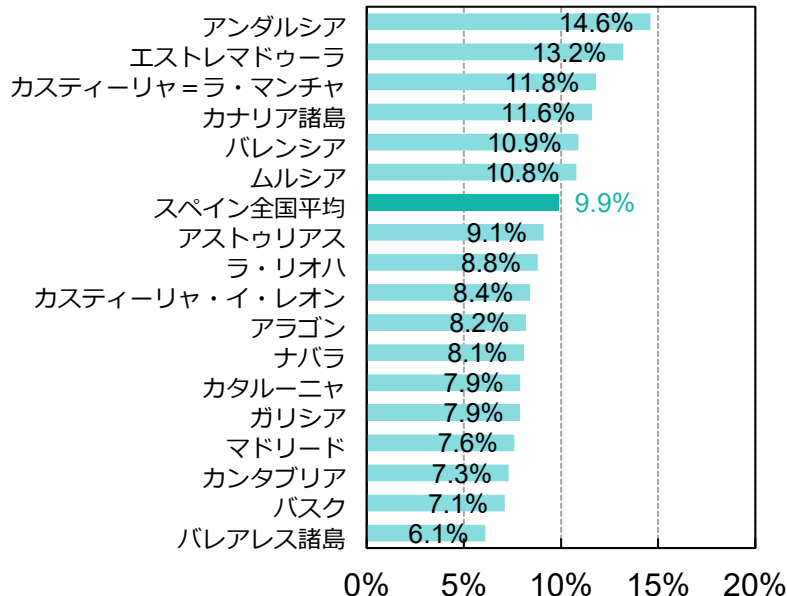


雇用の地域差

- アンダルシアは14.6%と最高
- 全国平均9.9%を大きく上回る
- バレアレス諸島は6.1%、観光業が雇用を下支え

自治州別失業率（2026年4～6月期）

注：17自治州を掲載。セウタ、メリリャは除く

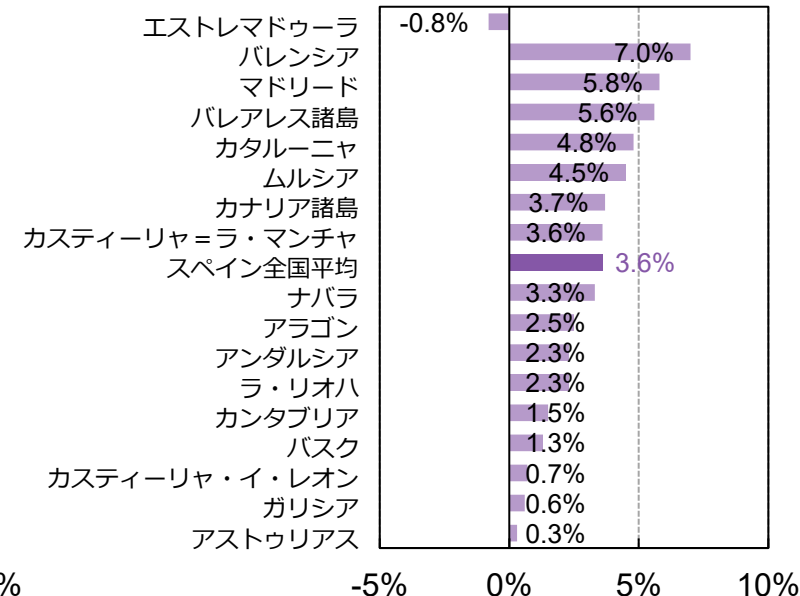


人口を引きつける地域・伸び悩む地域

- バレンシアは2021年比7.0%増
- 地中海沿岸と島嶼部で増加が目立つ
- エストレマドゥーラは0.8%減少

自治州別人口増減率（2021～2025年）

注：各年1月1日時点の人口を基に、2021年から2025年の増減率を算出



（出所：スペイン国立統計局（INE）よりSCGR作成）

- 自治州ごとに産業集積が異なり、成長の源泉も一様ではない
- マドリードは金融・サービス、バスク等は製造業、南部は農業・観光、島嶼部は観光・サービスが特徴
- 既存産業に加え、アラゴンではデータセンターを軸とする新たな産業集積も進む

バスク (バスク州)



 製造業（機械・鉄鋼）
 自動車・産業機械
 化学・エネルギー

ガリシア



 水産・食品（海産物）
 林業・木材・紙
 再生可能エネルギー

マドリード



金融・ビジネスサービス
本社機能・専門サービス
教育・研究・イノベーション

エストレマドゥーラ



- 農業・畜産（オリーブ等）
- 食品加工（ハム等）
- 再生可能エネルギー

カナリア諸島



観光・リゾート
農業（バナナ等）
再生可能エネルギー



アラゴン



データセンター・クラウド
AWS・Microsoftが大型投資
再生可能エネルギー

カタルーニャ



 製造業（自動車・化学）
 IT・デジタル・スタートアップ
 観光・文化産業

バレンシア



 製造業（自動車部品・セラミック）
 物流・港湾
 農業・食品（柑橘類）
 観光

バレアレス諸島



観光・リゾート
海運・マリーナ
サービス業

アンドンシア



農業（オリーブ・果実）
食品・飲料（オリーブオイル等）
観光・リゾート

産業基盤から所得・雇用・人口動態まで、地域ごとに異なる特徴

注：画像は生成AIにより作成したイメージ

高齢化・介護を支える外国人材

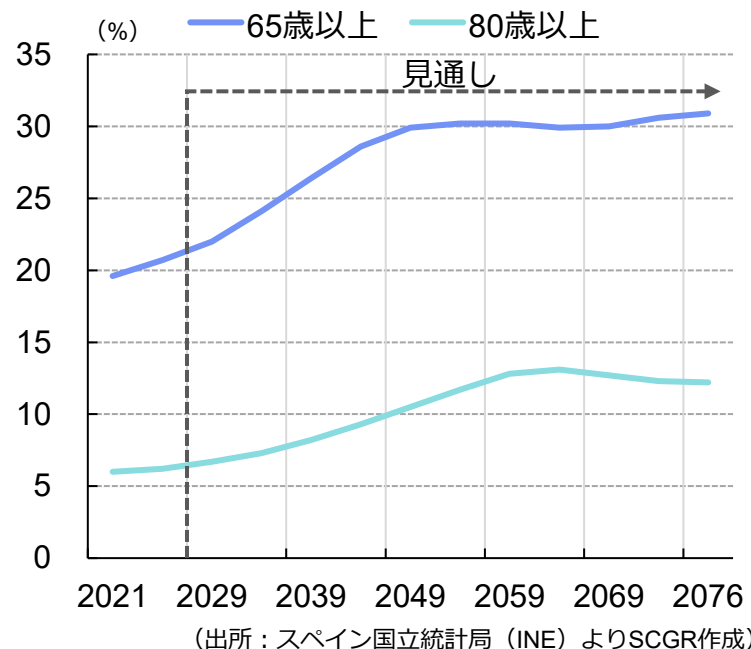
- 高齢化の進行に伴い、介護サービス需要は中長期的な拡大が見込まれる
- 介護分野では外国人材の比率が高く、人材確保が中長期的な課題
- 移民流入が人口・労働供給の増加を支え、スペイン語の広がりも受入れの背景に

進む高齢化

- 65歳以上比率は2050年代に30%台
- 80歳以上比率も同時に上昇が続く
- 高齢化が介護需要を中長期で押し上げ

高齢者人口比率の推移・見通し（65歳以上／80歳以上）

注：2021～2025年は実績、2029年以降はINE人口投影

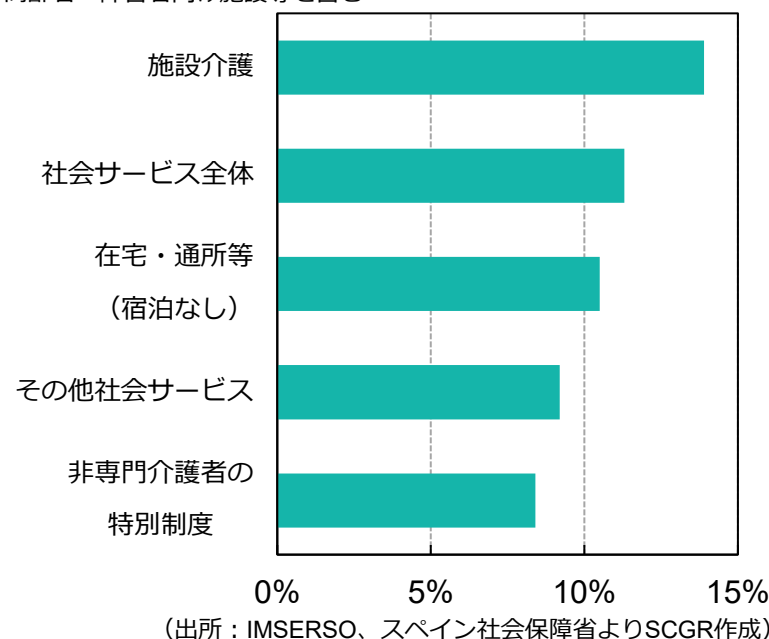


介護需要と人材不足

- 施設介護の外国人比率は約14%
- 社会サービス全体も10%を上回る
- 高齢化に伴う需要増を見据え、人材確保が課題

社会サービス分野の外国人比率（2026年4～6月期）

注：社会サービス部門の社会保障加入者ベース。施設介護には高齢者・障害者向け施設等を含む



労働力確保を支える移民

- 外国生まれ人口は約1,029万人
- 前期比11.8万人増と流入が続く
- 共通言語も移住のハードルを下げる一因

スペインの人口構成（2026年7月時点）

外国生まれ人口
1,029万人
前期比：+11.8万人

スペイン生まれ人口
3,951万人
前期比：▲1.4万人

注：前期比は2026年4月1日からの増減

人口・労働供給の増加を海外からの流入が下支え

世界に広がるスペイン語圏（参考、2025年時点）
中南米を中心に広がるスペイン語圏が、スペインへの人口流入を支える背景に

スペイン以外の
スペイン語圏の話者
（スペイン語話者）
約4.35億人

世界の
スペイン語母語話者
（ネイティブスピーカー）
約5.19億人

世界の
スペイン語潜在話者
（ネイティブ+限定的能力話者+学習者）
約6.36億人

注：左の数値はスペイン以外のスペイン語圏諸国の話者（ネイティブ+限定的能力話者）

（出所：スペイン国立統計局（INE）、
Instituto Cervantes “El español en el mundo 2025”よりSCGR作成）

食・スポーツ・文化というソフトパワー

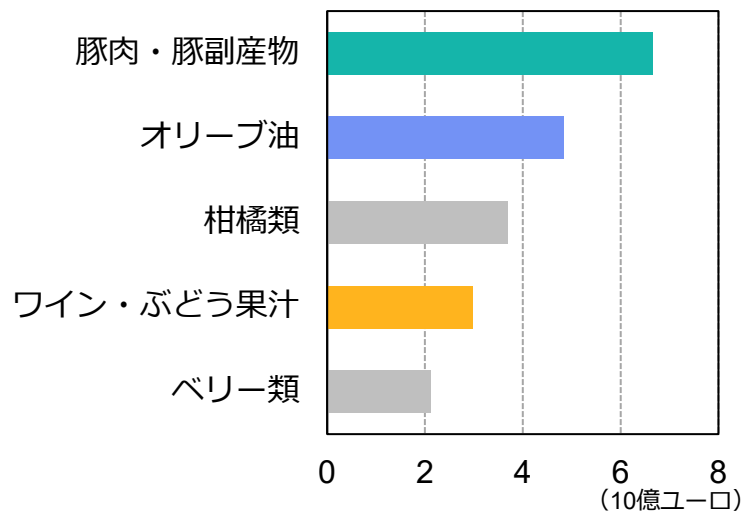
- 農食品・スポーツ・文化は、輸出・雇用・観光を通じて経済を下支え
- 農食品輸出は外貨獲得を支え、スポーツ産業では雇用拡大が続く
- 豊富な食材とガストロノミーを含む文化資産が、観光の魅力を高める

世界に広がる「スペインの食」

- 豚肉・豚副産物が輸出をけん引
- オリーブ油も主要輸出品に位置する
- 農食品輸出は780億ユーロに達する

主要農食品の輸出額（2025年）

注：2025年暫定値。品目区分はスペイン農業・漁業・食料省による



農食品・水産物輸出

780億ユーロ

財輸出に占める割合

20.2%

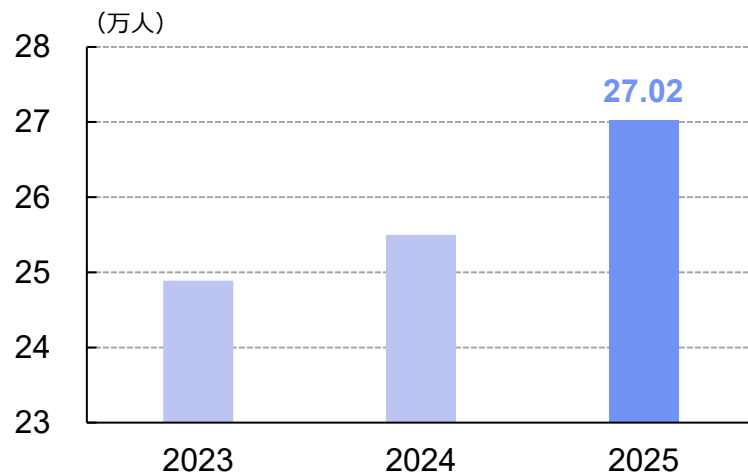
（出所：スペイン農業・漁業・食料省（MAPA）よりSCGR作成）

スポーツ — 世界に届くブランド

- 関連雇用は2025年に27万人
- 2023年以降、雇用の拡大が続く
- LALIGA収入は54.6億ユーロ

スポーツ関連雇用の推移

注：スポーツ関連雇用は2025年、スペイン・プロサッカー（LALIGA）収入は2024/25シーズン



スポーツ関連雇用

27.0万人

LALIGA収入

54.6億ユーロ

（出所：スペイン・スポーツ上級評議会（CSD）、LALIGAよりSCGR作成）

文化 — 観光を支える資産

- 世界遺産は50件と層が厚い
- 無形文化遺産も26件を数える
- 多様な文化資産が観光需要を創出

世界遺産

（2026年9月時点）

50件

文化遺産	44件
自然遺産	4件
複合遺産	2件



無形文化遺産

（2026年9月時点）

26件

フラメンコ
地中海食
コルドバのパティオ祭り
人間の塔（カステル）等



注：画像は生成AIにより作成したイメージ

歴史都市・建築・祭礼に加え、
ガストロノミーも観光の魅力を形成

注：ガストロノミーは、料理・食材・食習慣などを含む食文化を指す
（出所：UNESCOよりSCGR作成）

金融① 欧州有数の銀行大国・スペイン

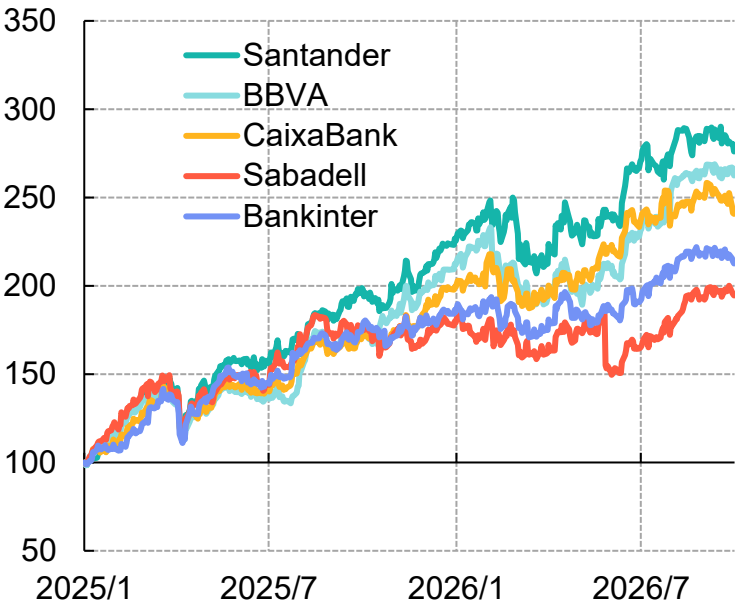
- 主要銀行の株価は2025年以降、総じて上昇基調
- Santanderは欧州主要行の総資産上位に位置し、域内で存在感を示す
- 海外収益基盤は地域分散される一方、銀行ごとに重点市場が異なる

スペイン主要銀行の株価

- 主要5行の株価指数は総じて上昇
- SantanderとBBVAが上昇を主導
- Sabadellも夏場以降に持ち直し

主要5行の株価指数（2024年末 = 100）

注：2024年12月31日 = 100として指数化

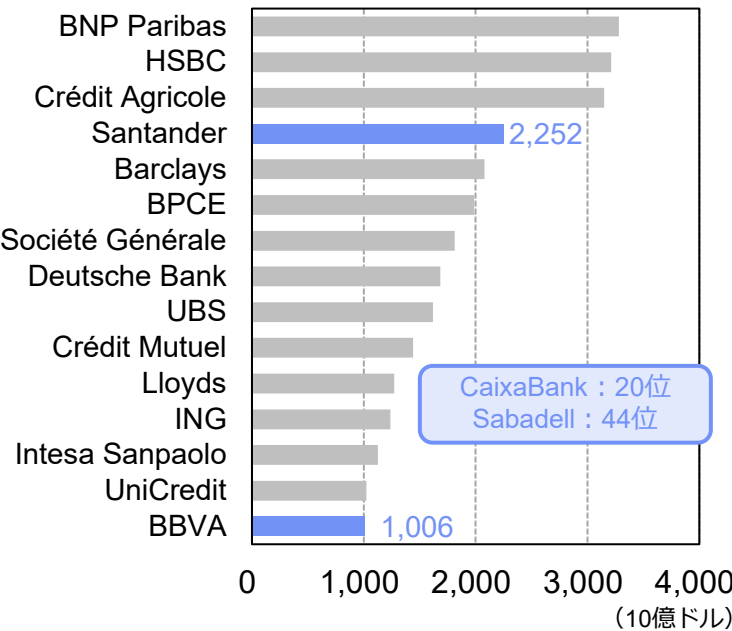


（出所：BloombergよりSCGR作成）

欧州主要銀行の総資産ランキング

- Santanderは欧州第4位に位置する
- 総資産は2兆ドルを上回る規模
- BBVAは第15位、CaixaBankは第20位

欧州主要銀行の総資産ランキング（2025年末、Top15）

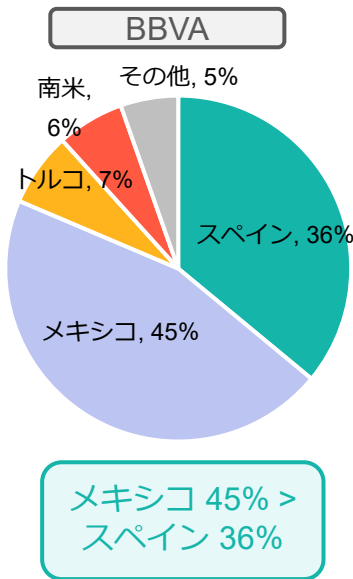


（出所：S&P Global Market IntelligenceよりSCGR作成）

海外市場が支える利益基盤

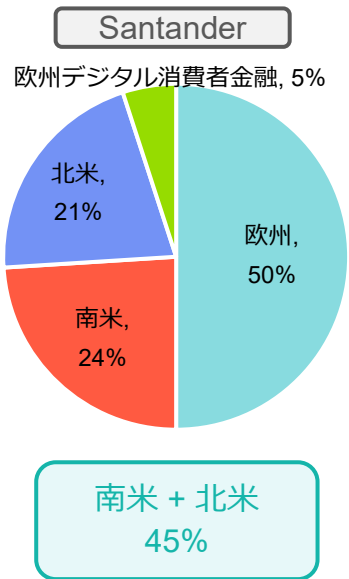
- BBVAはメキシコが45%を占める
- Santanderは欧州が50%を占める
- 両行とも海外市場の利益寄与が大きい

地域別純利益構成
（2025年）



メキシコ 45% >
スペイン 36%

地域別基礎利益構成
（2025年）



南米 + 北米
45%

（出所：BBVA、Banco SantanderよりSCGR作成）

金融② 世界に広がるスペイン銀行の金融網

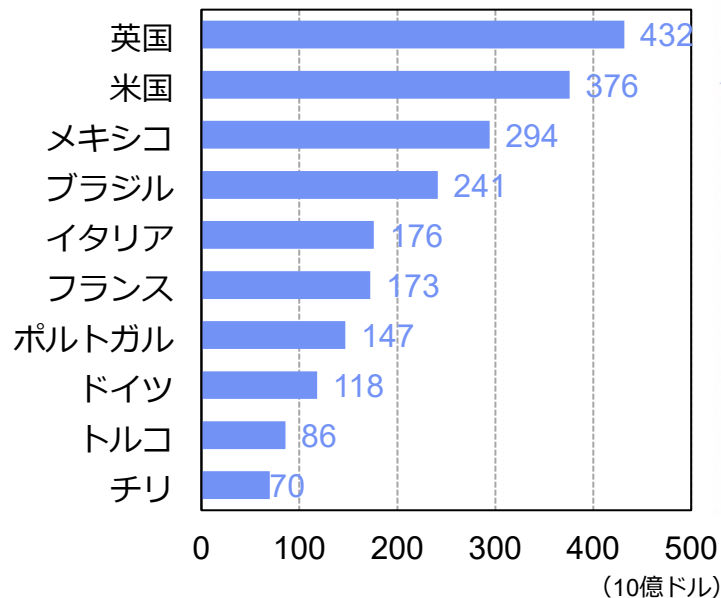
- スペイン銀行は欧州を軸に、北米・中南米へ広範な与信網を構築する
- 海外与信は地域分散され、中南米では現地法人を通じた事業展開が進む
- 言語・歴史的つながりも、中南米での事業基盤の背景に

スペイン銀行の海外与信先

- 英国向けが4,320億ドルで最大
- 米国3,760億ドル、メキシコ2,940億ドル
- 欧州と米州に主要与信先が分散する

最終与信先 Top10 (2026Q1)

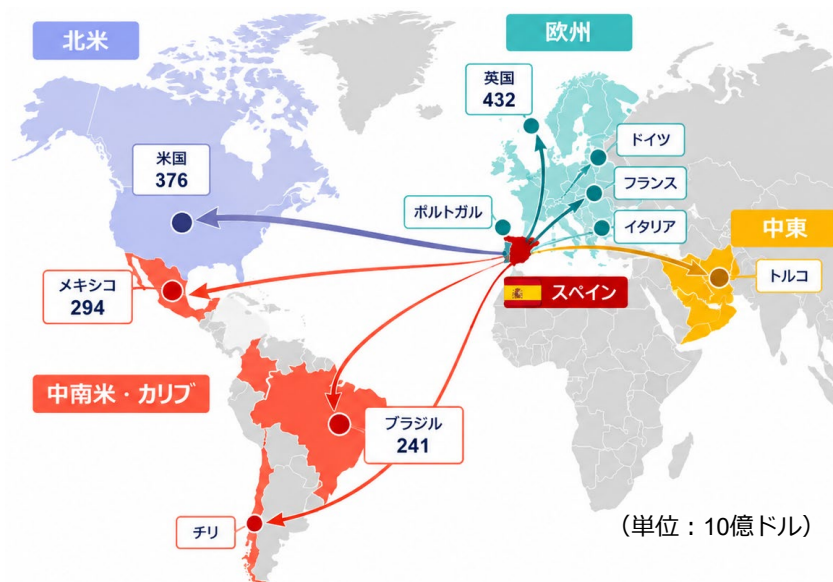
注：最終リスクベース（guarantor basis）の連結与信残高



(出所：BISよりSCGR作成)

世界に広がる海外与信網

- 海外与信の48.8%を欧州が占める
- 中南米・カリブは30.0%を占める
- 北米も14.6%と一定の厚みを持つ



地域別構成 (2026Q1)



(出所：BISよりSCGR作成)

中南米に根付くスペイン銀行

- 買収と現地法人化で事業基盤を構築
- Santanderは欧州・米州に広く展開
- BBVAはメキシコを中核に存在感を持つ



言語・歴史的繋がり

- スペイン語圏との文化・商習慣面での親和性
- 長期的な事業展開を支える背景の一つ



現地化した銀行経営

- 買収・現地法人を通じてローカル事業を展開
- 現地預金を基盤に、各市場で事業を展開



主要行による広域展開

- Santander：欧州・北米・中南米に広く展開
- BBVA：メキシコを中核に中南米で高い存在感



現地法人を軸に、中南米を含む広域な金融ネットワークを形成

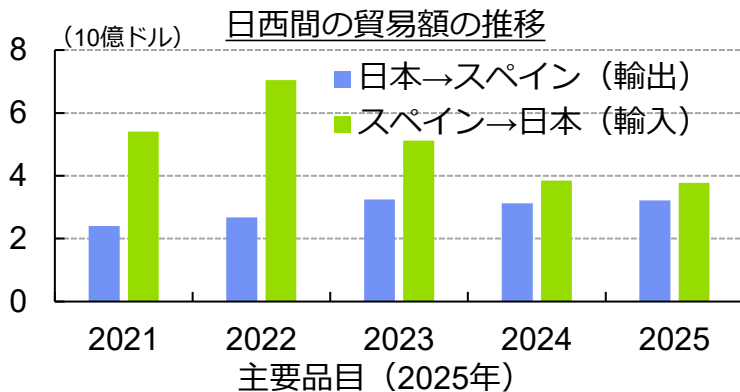
(出所：Banco de España、Banco Santander、BBVAよりSCGR作成)

日本とスペイン — 広がる経済・産業の接点

- 日西間の貿易は、自動車・機械と農食品を中心に相互補完的な構造
- 日本企業のスペイン投資は、自動車・再エネ・デジタルなど幅広い分野に広がる
- 貿易・投資に加え、新たな産業協力へ日西経済関係が広がる

日西貿易 — 製造業と農食品が結ぶ関係

- 対西輸出は2023年以降、30億ドル台で推移
- 日本からは輸送用機器が輸出の約5割を占める
- スペインからは肉類・同調製品が輸入の首位



日本→スペイン
(輸出)



輸送用機器
52.1%

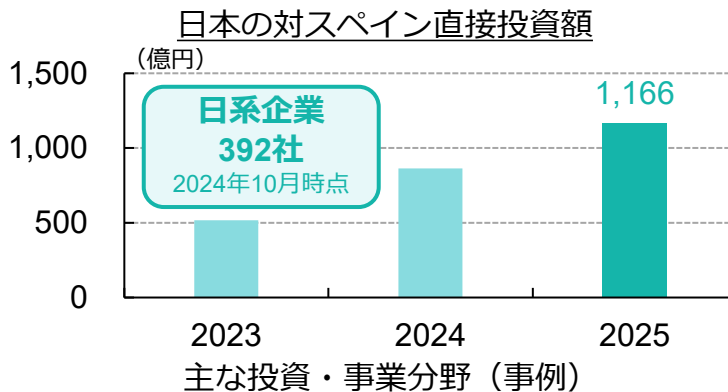
スペイン→日本
(輸入)



肉類・同製品
23.1%

日本企業の投資・事業展開

- 対スペイン直接投資は2023年以降拡大
- 2025年は1,166億円まで拡大
- 日系企業392社がスペインに進出



自動車・部品



- 自動車部品の生産拠点
- EV関連投資

デジタル・AI



- AI、データセンター
- IT、スタートアップ

再生可能エネルギー



- 風力、太陽光発電
- 電力、送配電網

産業インフラ



- 鉄鋼、機械
- 電力インフラ
- 環境技術

これからの協力分野

- 食・防衛・エネルギーなど協力分野が広がる
- 産業・技術面でも新たな連携の可能性
- 経済関係に加え、協力領域も多様化

食・農業



- スペイン産豚肉・生ハム、オリーブオイルなどが主要品
- ASF発生を受け、2025年11月よりスペイン産豚肉等の輸入を停止

防衛・安全保障



- 2014年に防衛協力、交流の覚書を締結
- 2025年11月に第6回防衛当局間協議を開催
- 防衛産業を含む協力分野について対話

エネルギー、グリーン・イノベーション



- 再生可能エネルギー、電力網、脱炭素技術
- 水素、蓄電、環境インフラ分野での連携
- 再エネ・電力網・脱炭素技術等幅広い領域

2028年 日西外交関係樹立 160周年
経済・文化・人的交流のさらなる発展が期待

注：画像は生成AIにより作成したイメージ
(出所：JETRO、財務省、日本銀行、外務省、
農林水産省、防衛省よりSCGR作成)

実体経済・金融動向

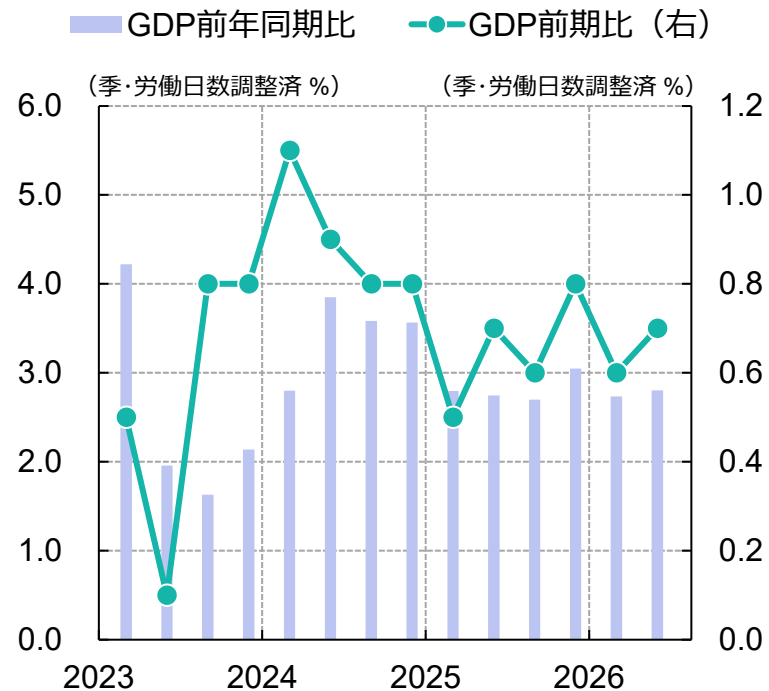
GDP・景況感／生産・設備投資／個人消費・物価
雇用・賃金／住宅・建設／外需
財政／金融・市場／信用・銀行

GDP・需要構造

- 4～6月期も個人消費と投資を軸に、実質GDPは底堅い成長を維持
- 個人消費、固定資本形成、純輸出がプラス寄与し、幅広い需要項目が成長を下支え
- サービス業の景況感が高水準の一方、製造業は縮小圏で部門差が鮮明

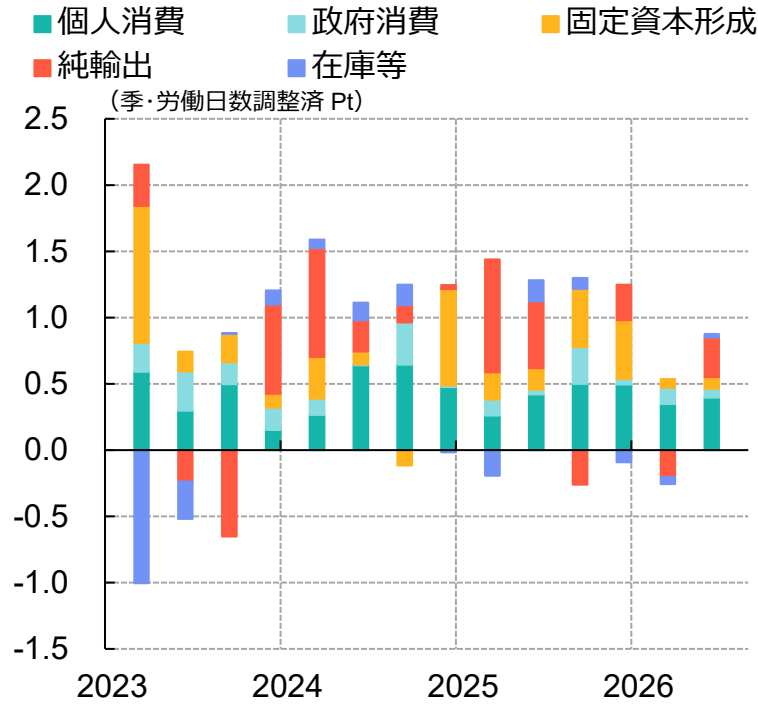
実質GDP成長率

- 前年比2.8%と高い伸びを維持
- 前期比は0.7%増と成長継続
- 内需を軸に底堅い推移が続く



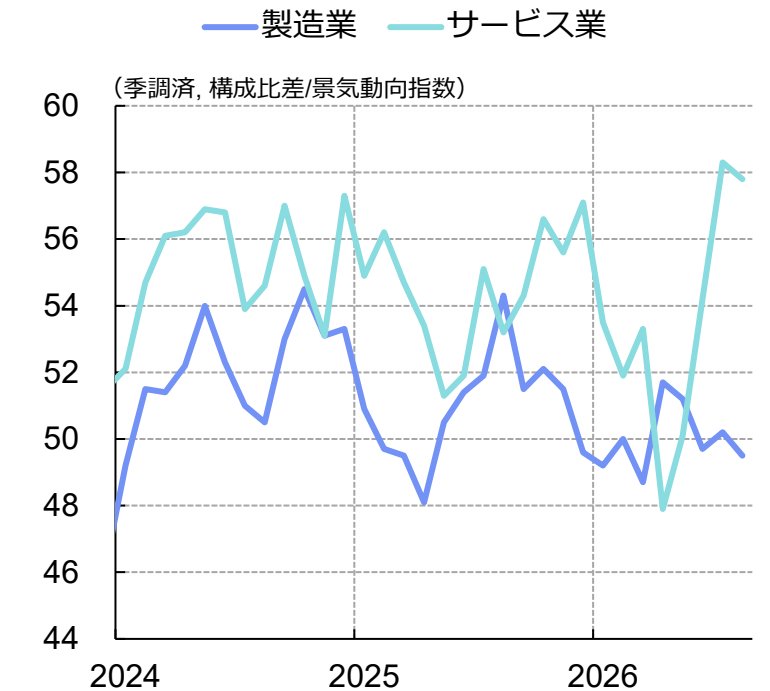
実質GDP需要項目別寄与度

- 個人消費が引き続きプラス寄与
- 固定資本形成もプラス寄与を維持
- 純輸出も直近はプラスに転換



景況感

- サービス業は57.8と高水準
- 製造業は49.5と縮小圏で推移
- 製造業とサービス業の景況感に大きな差



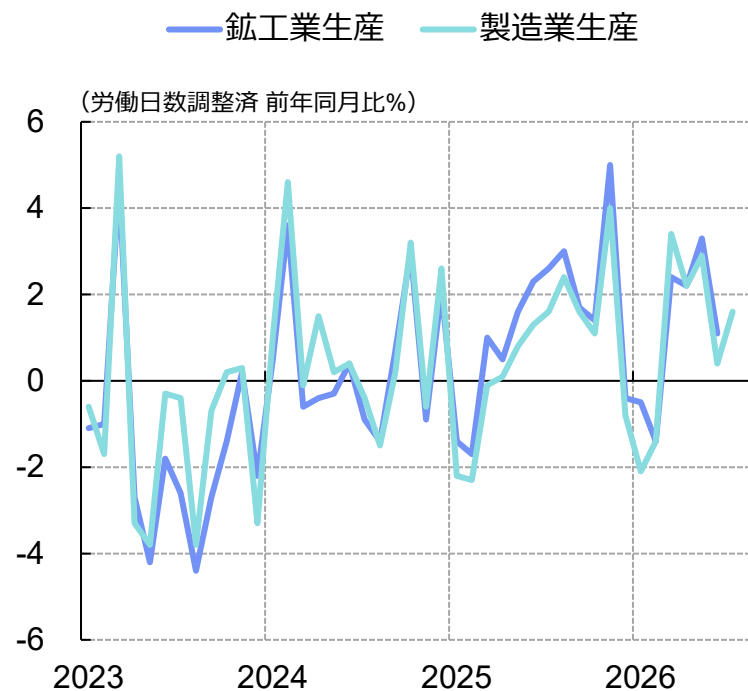
(出所：スペイン国立統計局 (INE)、S&Pグローバル、BloombergよりSCGR作成)

生産・設備投資

- 生産はプラス圏を保つものの、月次の振れが大きい
- 財別では中間財が増加する一方、資本財は前年割れ
- 固定資本形成は全項目で増加し、無形固定資産投資が高い伸びを維持

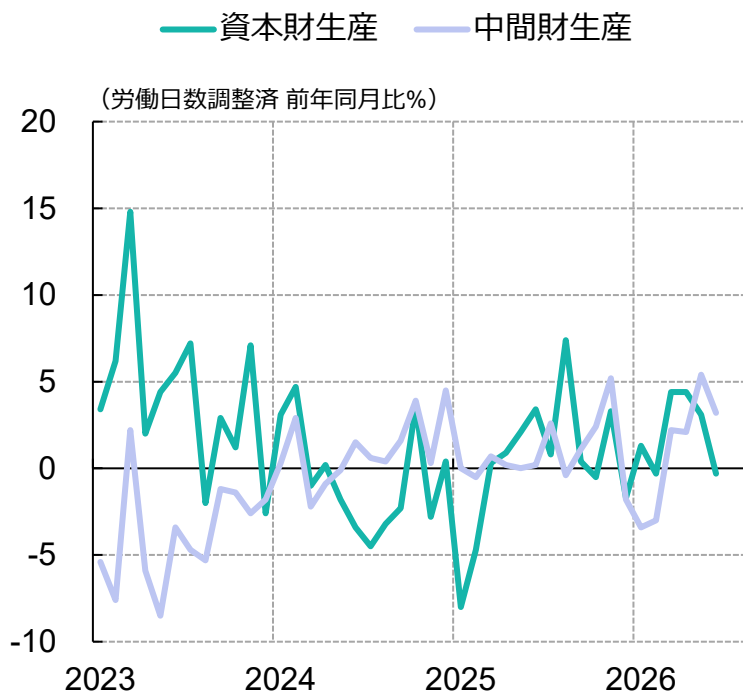
鉱工業・製造業生産

- 鉱工業生産は前年比1.1%増
- 製造業生産は前年比1.6%増
- プラス圏ながら月次の振れは大きい



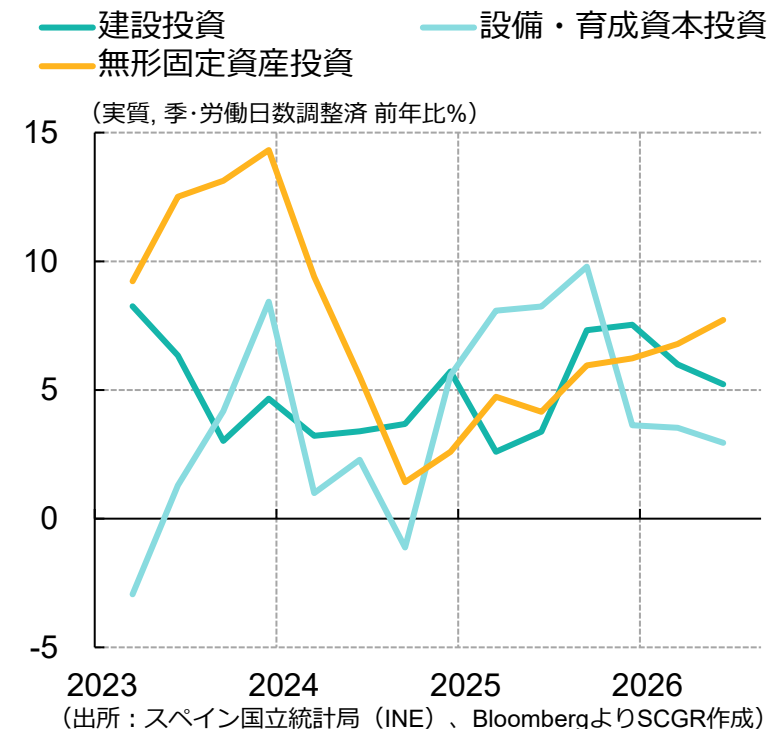
財別生産

- 資本財生産は前年比0.3%減
- 中間財生産は前年比3.2%増
- 中間財と資本財で方向感に差



固定資本形成の内訳

- 建設投資は前年比5.2%増
- 設備等投資は前年比2.9%増
- 無形資産投資は7.7%増と堅調

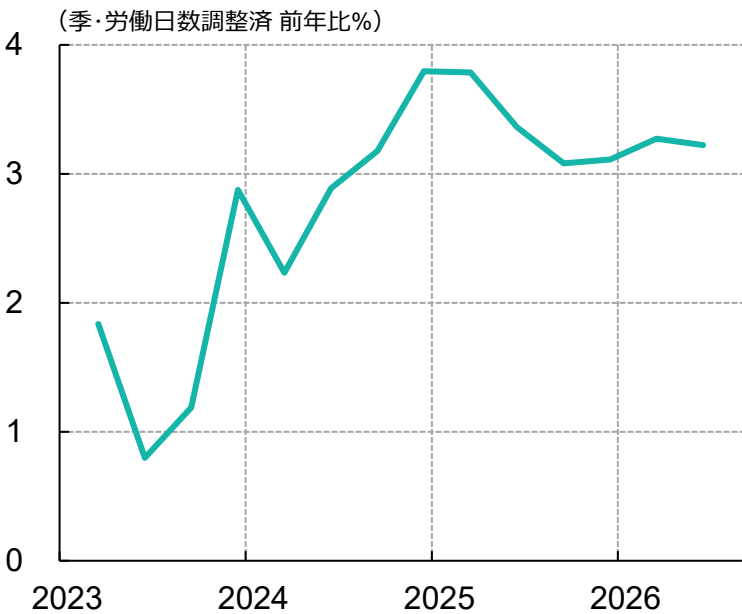


個人消費・物価

- 実質個人消費は高い伸びを保つ一方、小売売上高は足元で前年割れ
- 消費者信頼感はマイナス圏で推移し、消費者マインドは慎重
- 総合CPIは再加速する一方、コアCPIは小幅に低下

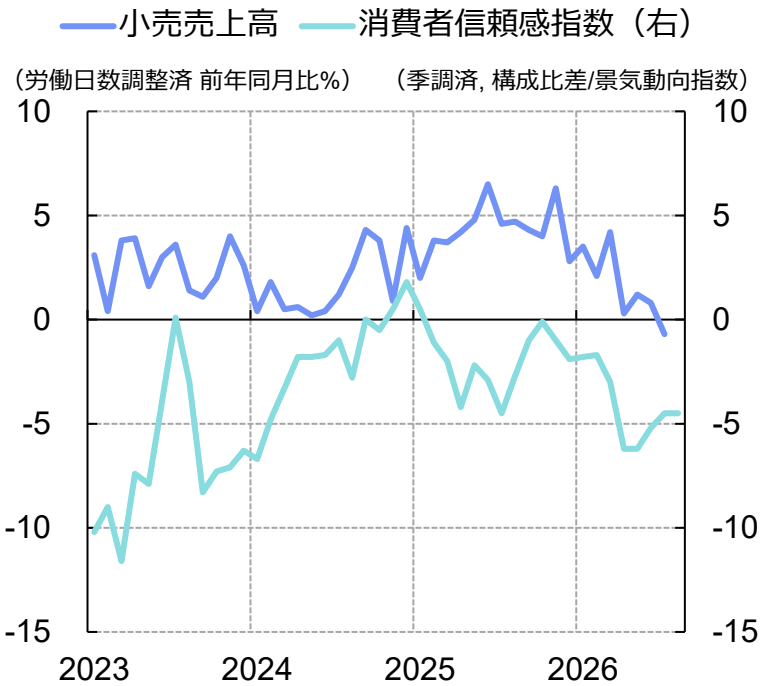
実質個人消費

- ・ 実質個人消費は前年比3.2%増
- ・ 高い伸びを維持し内需を下支え
- ・ 直近は伸びがやや鈍化して推移



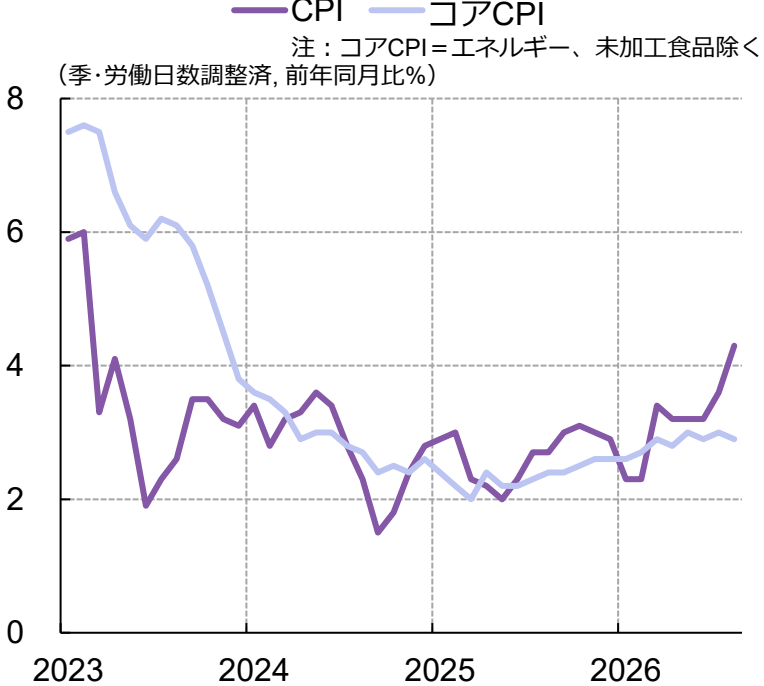
小売・家計マインド

- ・ 小売売上高は7月に前年割れ
- ・ 消費者信頼感はマイナス圏が続く
- ・ 実質消費の伸びと消費者マインドに乖離



物価

- ・ 8月CPIは4.3%へ上昇
- ・ コアCPIは2.9%へ小幅低下
- ・ 総合と基調物価の方向差が拡大



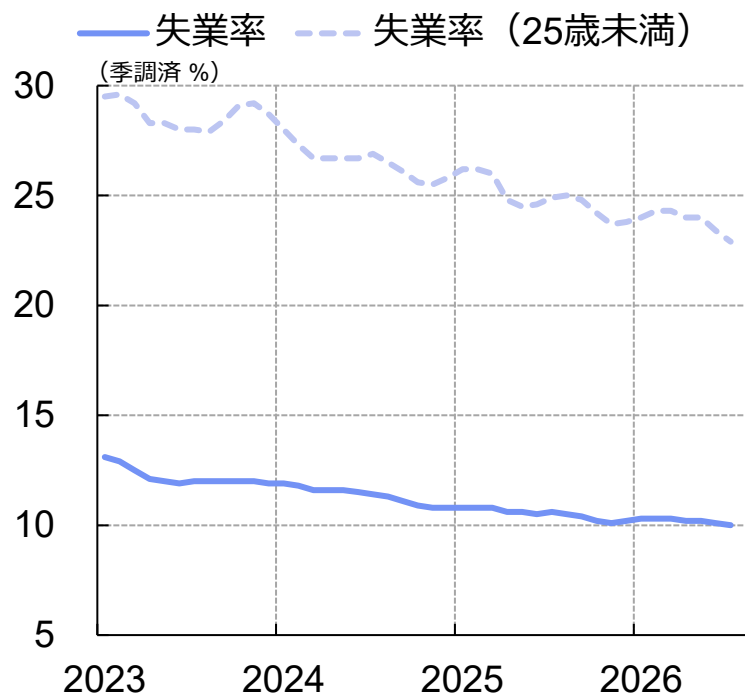
(出所：スペイン国立統計局 (INE)、欧州委員会、BloombergよりSCGR作成)

雇用・賃金

- 失業率と若年失業率はともに低下基調
- 就業者数は増加を維持する一方、製造業の伸びは足元で鈍化
- 賃金は前年比プラスが続き、建設業の伸びが相対的に高い

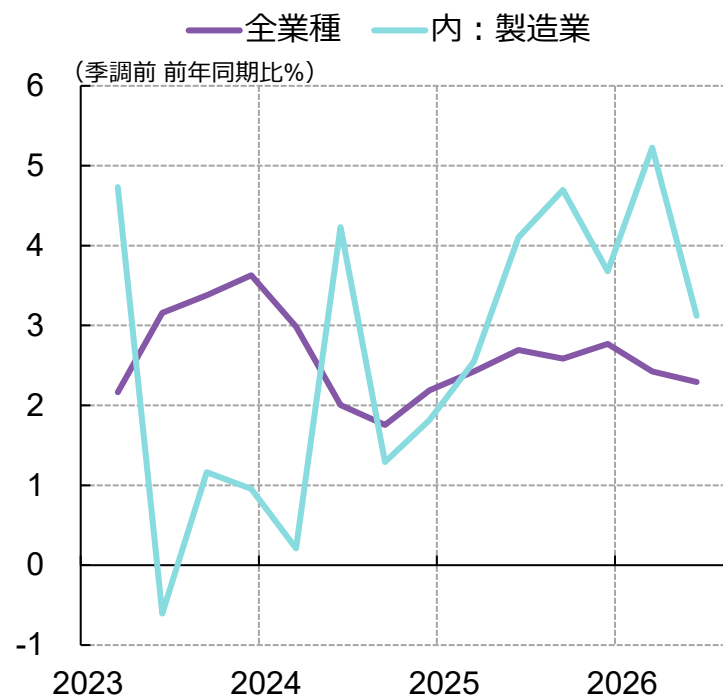
失業率・若年失業率

- 失業率は7月に10.0%へ低下
- 若年失業率も22.9%へ低下
- いずれも緩やかな低下基調が続く



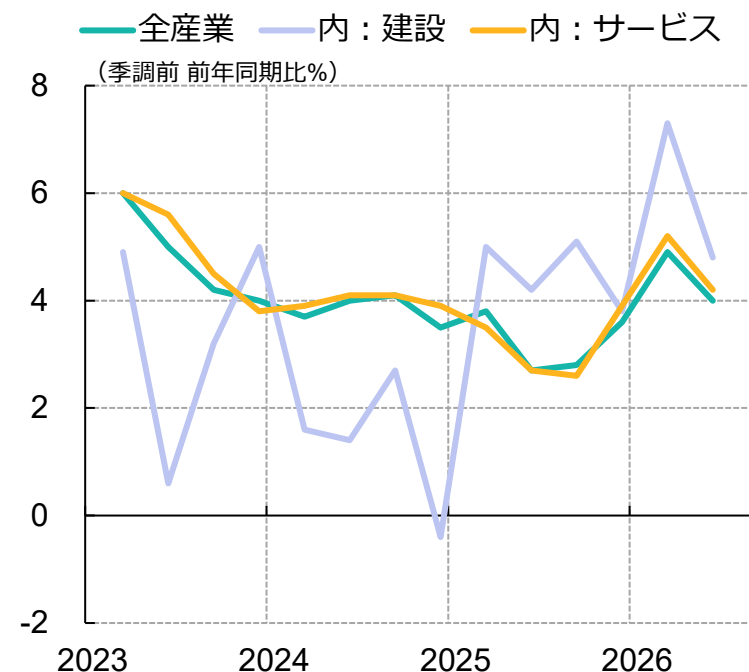
就業者数

- 全業種の就業者数は前年比2.3%増
- 製造業は前年比3.1%増
- 製造業の伸びは直近で鈍化



賃金上昇率

- 4～6月期の全産業の賃金は前年比4.0%増
- サービス業は同4.2%増、建設業は同4.8%増
- いずれも前期から伸びが鈍化



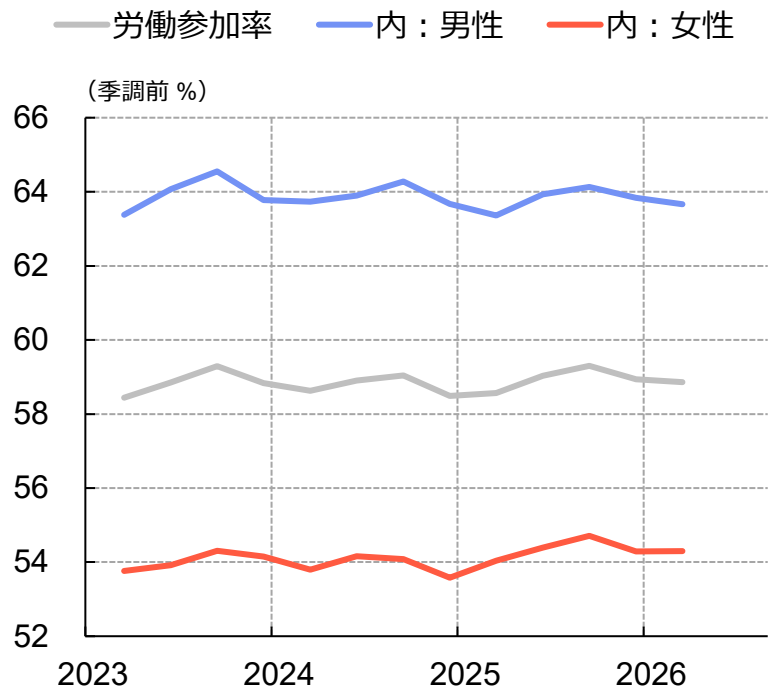
(出所：スペイン国立統計局 (INE)、Eurostat、BloombergよりSCGR作成)

労働市場の構造

- 労働参加率は約59%で安定する一方、男女間格差は約10pt残る
- 2022年の労働市場改革を契機に有期雇用比率が低下、EU平均との差も縮小
- 時間当たり労働生産性は足元で前年割れに転じる

労働参加率

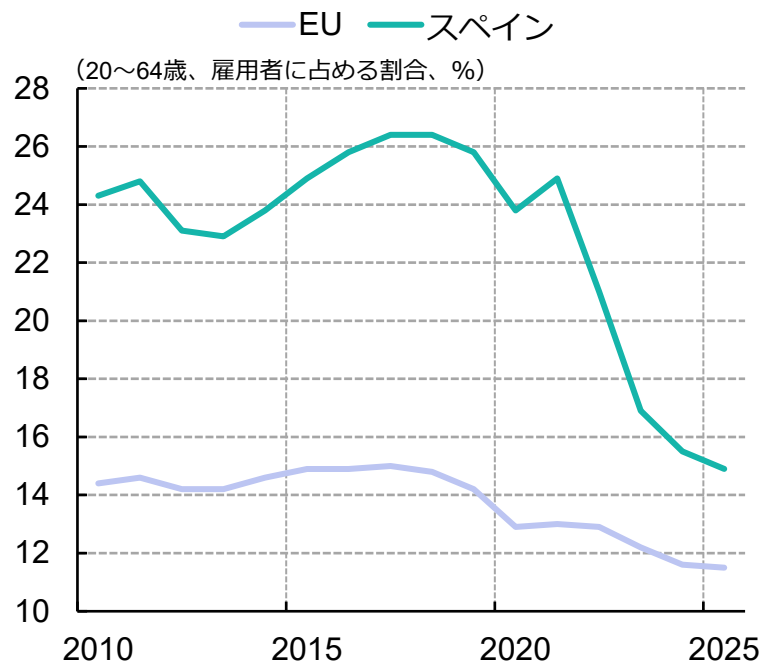
- 労働参加率は59%前後で安定
- 男性は64%、女性は54%前後
- 男女差は約10ptとなお残る



有期雇用者比率

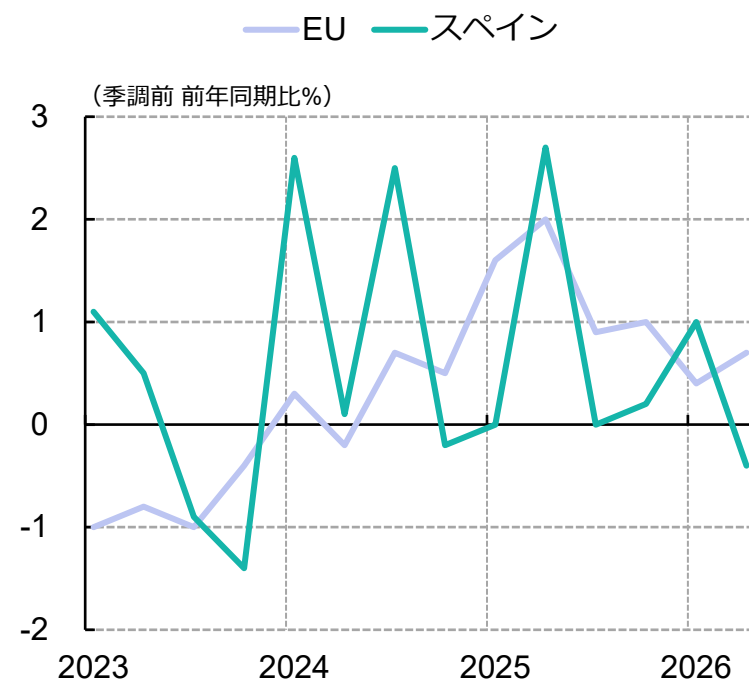
- 2022年の労働市場改革後、有期雇用比率が急減
- 有期契約を制限、無期雇用への転換が進む
- 2025年は14.9%、EU平均との差も縮小

注：スペインは2021年以降、定義上の差異あり (Eurostat)



時間当たり労働生産性

- 生産性は四半期ごとの振れが大きい
- 2025年後半から伸びが鈍化
- 4~6月期は前年比0.4%減



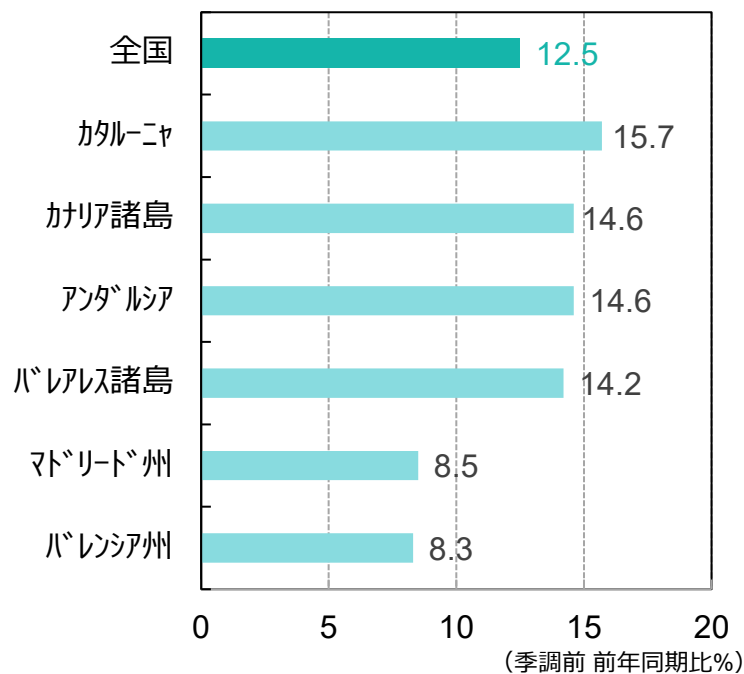
(出所：スペイン国立統計局 (INE)、Eurostat、BloombergよりSCGR作成)

住宅・建設

- 住宅価格は前年比2桁の上昇が続き、主要地域で上昇が目立つ
- 住宅販売は中古を中心に高水準で推移し、住宅価格の上昇も続く
- 建設許可は増加基調も、住宅供給の拡大が需要に追いつくかが注目点

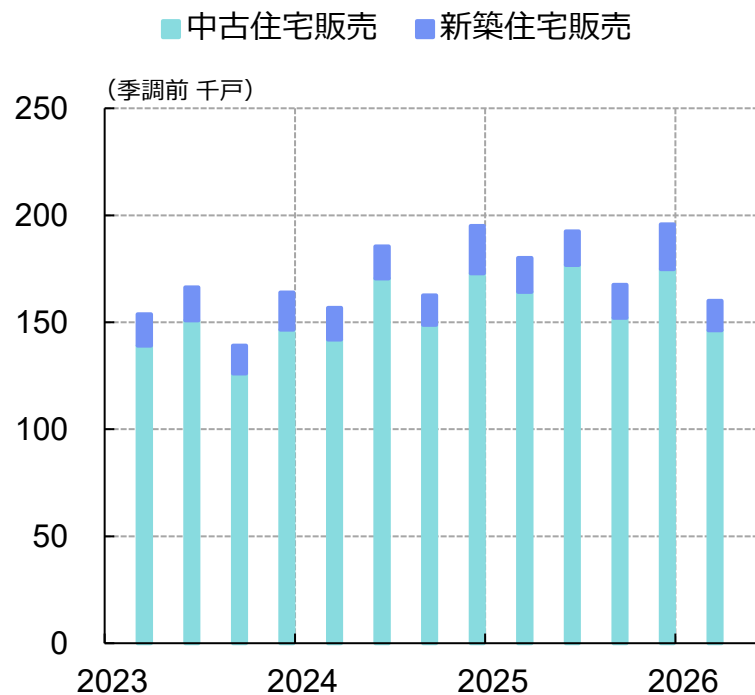
主要地域の住宅価格（2026Q2、前年同期比）

- 全国価格は2026Q2に12.5%上昇
- カタルーニャは15.7%と上昇率が最大
- 地域差を伴い価格上昇圧力は根強い



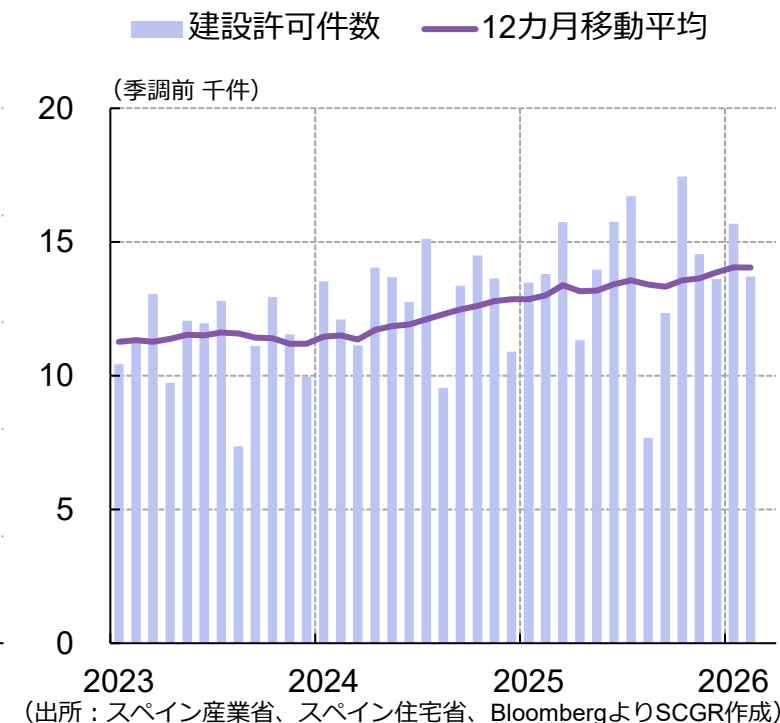
住宅販売件数（新築・中古）

- 中古住宅を中心に高水準で推移
- 2025年は四半期ごとに堅調
- 2026Q1も底堅いが前期比では減少



住宅建設許可件数

- 建設許可は振れを伴いつつ増加
- 12カ月平均は2023年以降上昇
- 足元でも増加基調を維持

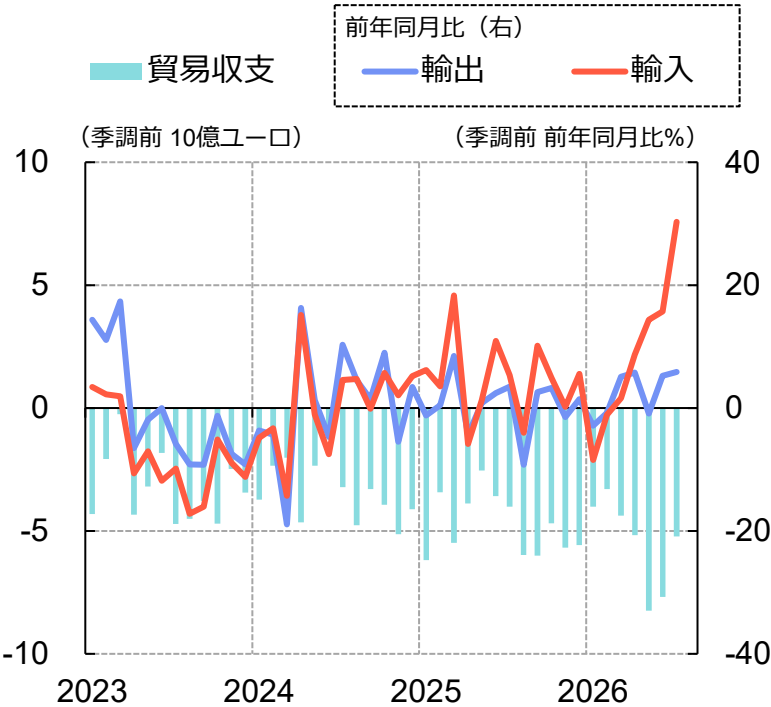


外需①貿易

- 輸出は欧州向けを中心に増加
- 輸入の伸びが輸出を上回り、財貿易の赤字は拡大
- 欧州向けが輸出の中心、米国向けは7月に増勢拡大

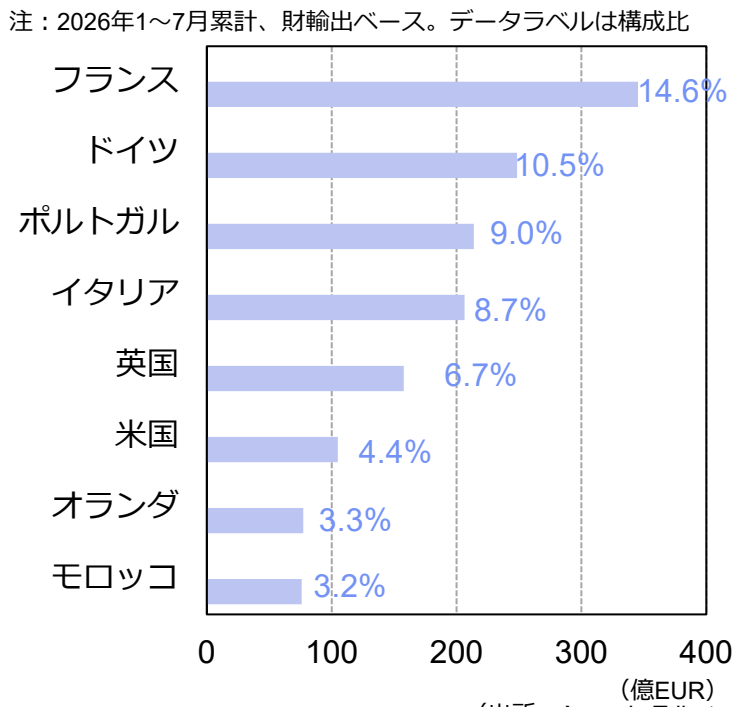
輸出入・貿易収支

- 7月は輸出が前年比3.0%増
- 輸入は同5.9%増と上回る
- 貿易赤字は高水準で推移



主要輸出先 (2026年1～7月累計)

- フランスが最大で構成比14.6%
- ドイツ、ポルトガルがこれに続く
- 欧州域内向けが輸出の中心



主要国向け輸出の伸び (2026年)

- イタリア、ポルトガル向けは堅調に増加
- 米国向けは7月に伸びが加速
- 英国向けは7月に小幅プラス、中国向けは大幅減

(前年同月比、%)

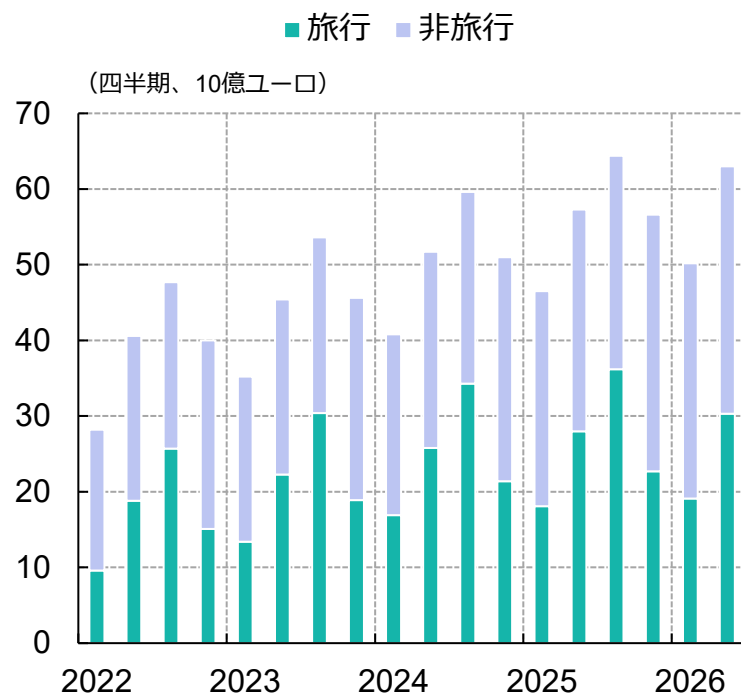
輸出先	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
フランス	1.7%	0.0%	7.3%	9.9%	-0.3%	-1.8%	3.7%
ドイツ	-5.6%	9.7%	10.2%	16.3%	-4.5%	9.0%	5.6%
ポルトガル	0.1%	1.7%	12.7%	15.2%	10.8%	14.5%	8.4%
イタリア	-1.6%	7.9%	14.6%	17.2%	9.0%	10.5%	14.4%
英国	6.5%	4.6%	8.3%	2.9%	-5.2%	-11.0%	0.3%
米国	-11.4%	-12.7%	3.4%	4.5%	2.5%	4.4%	19.2%
中国	-7.8%	-13.5%	12.7%	4.3%	15.3%	0.2%	-23.4%

外需②観光・サービス

- 旅行・非旅行サービスとも増加し、サービス輸出は拡大基調
- 旅行収支は高水準の黒字を維持し、財貿易赤字を一部相殺
- 外国人観光客支出は高い伸びが続き、サービス輸出を下支え

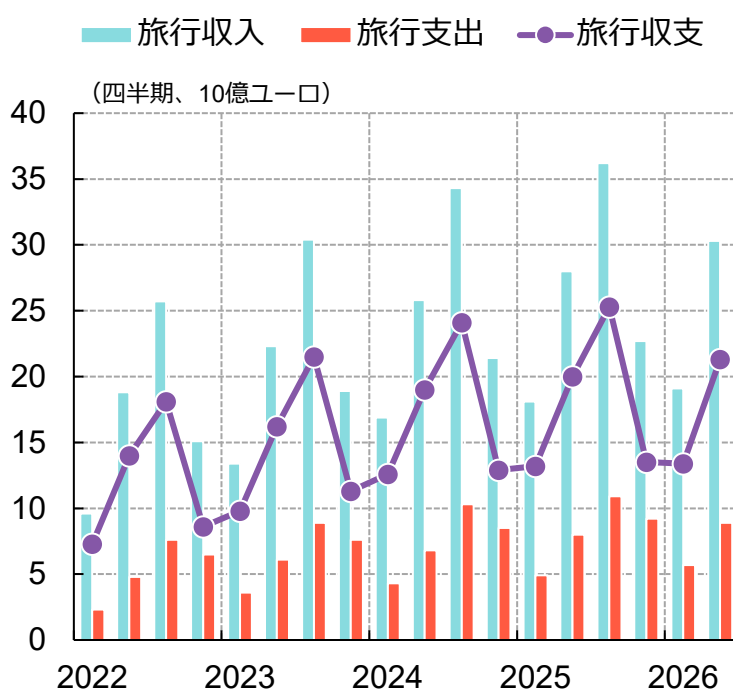
サービス輸出（旅行／非旅行）

- 旅行サービスは季節性を伴いながら拡大
- 非旅行サービスも増加が続く
- 双方がサービス輸出を支える



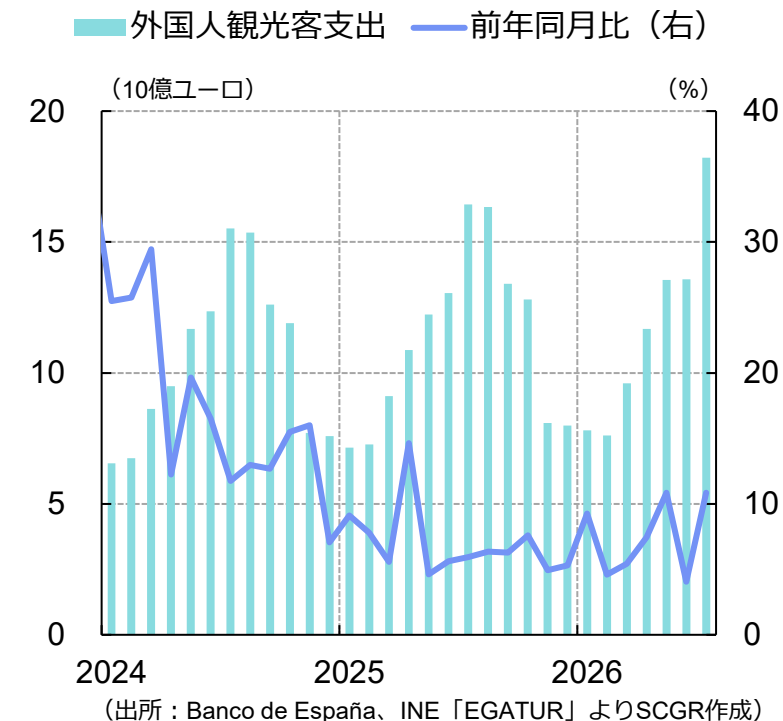
旅行収支

- 旅行収入は季節変動を伴い拡大
- 収入増が支出の伸びを上回る
- 旅行黒字は高水準を維持



外国人観光客の支出

- 1～7月は前年比7.8%増
- 累計支出は821億ユーロ
- 7月も同10.9%増と高い伸び

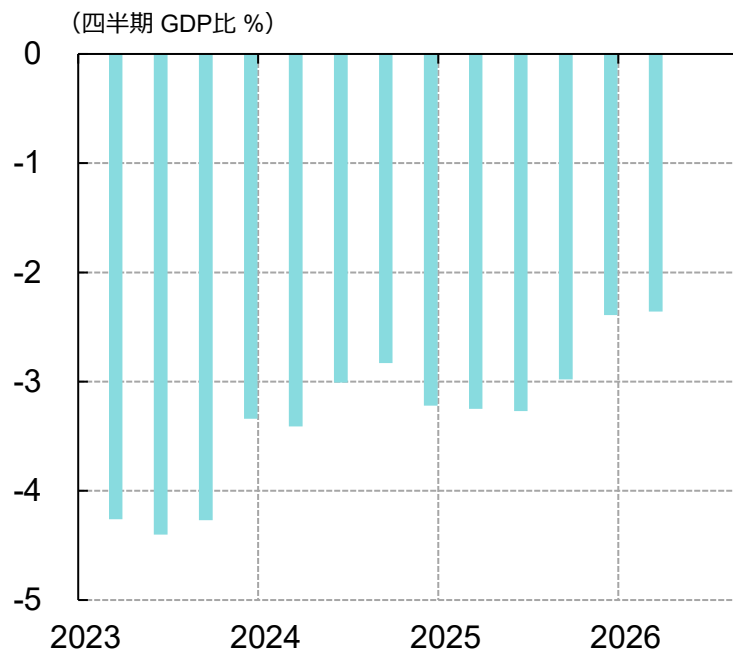


財政

- 財政赤字と政府債務比率は縮小傾向も、政府債務はGDP比100%超
- RRF（Recovery and Resilience Facility）では配分総額の76.5%を受領し、マイルストーン・目標の60%を達成
- RRF資金の投資への波及と、支援終了後の投資動向が中期的な注目点

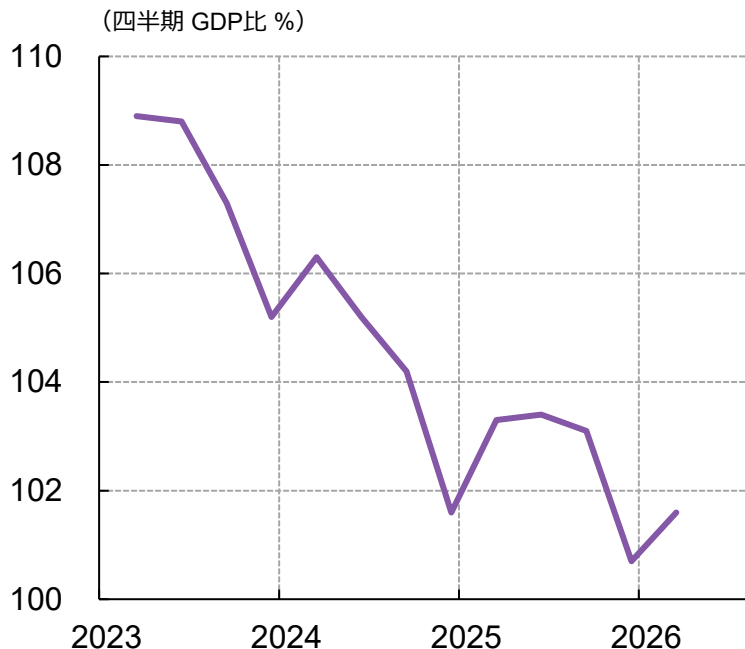
一般政府財政収支

- ・ 財政赤字は縮小方向
- ・ 直近はGDP比2%台
- ・ 2023年以降、赤字幅は総じて縮小



政府債務残高

- ・ 債務比率は低下基調
- ・ 直近はGDP比101.6%
- ・ 依然100%超の高水準



EU復興基金（RRF）

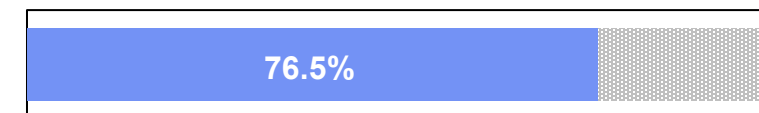
- ・ EUから約780億ユーロを受領
- ・ 配分総額の76.5%に相当
- ・ マイルストーン・目標の60%を達成

RRF配分総額

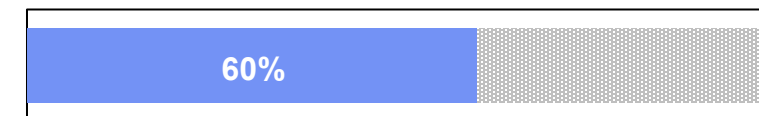
総額：約1,020億ユーロ

受領済額：約780億ユーロ

EUからの資金受領率



マイルストーン・目標達成率



注：RRF = Recovery and Resilience Facility（復興・強靱化ファシリティ）。2026年8月11日公表時点。資金受領率はEUからスペインへの支払状況を示し、国内での投資実行率を示すものではない
（出所：ユーロスタット、欧州委員会、BloombergよりSCGR作成）

金融・市場

- 政策金利が2.25%で推移する一方、長期金利は3%台後半へ上昇
- 対独スプレッドは低位で推移
- IBEX35は約2万ポイントまで上昇、銀行・エネルギー株がけん引

政策金利・長期金利

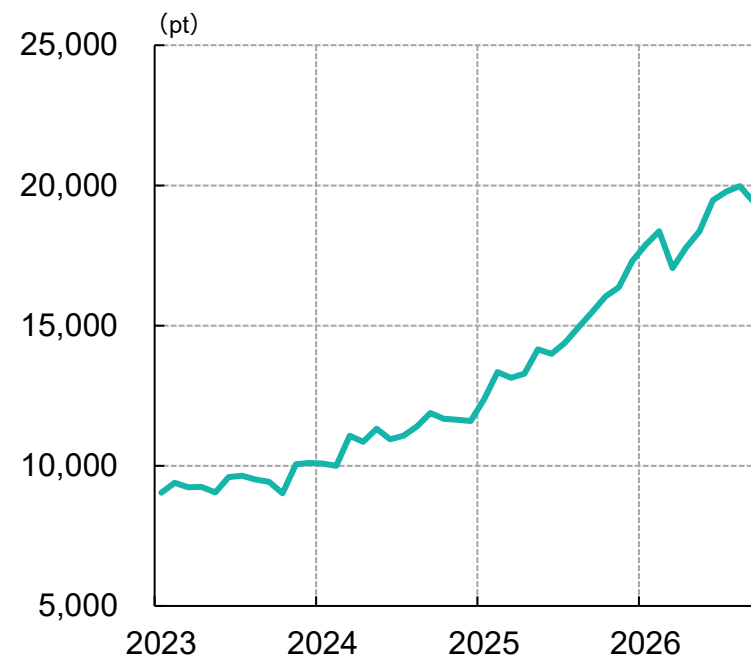
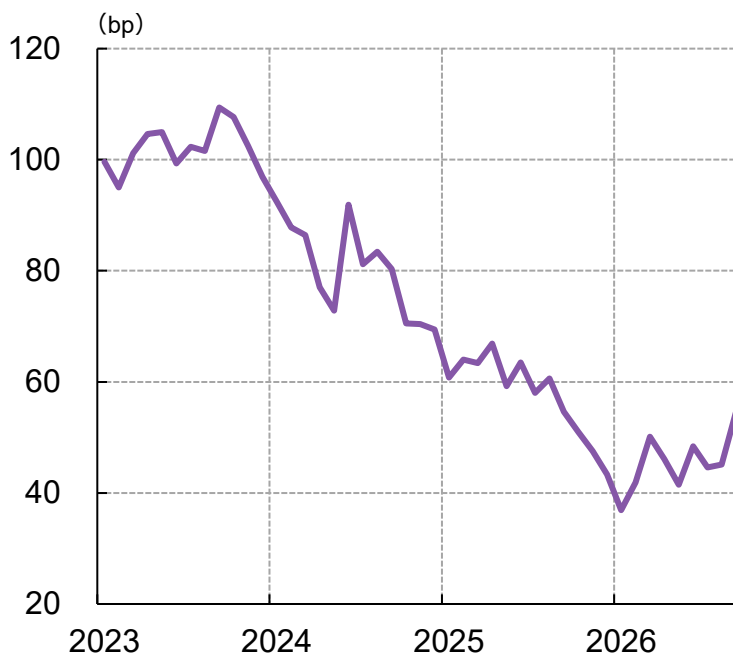
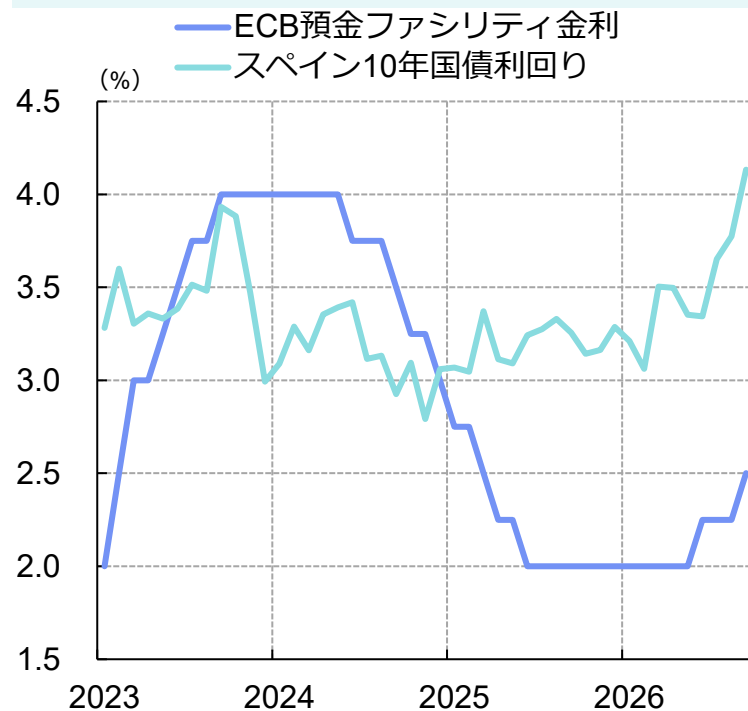
- ECB預金ファシリティ金利は2.5%
- スペイン10年債利回りは4.13%

スペイン・ドイツ10年国債スプレッド

- 対独スプレッドは縮小基調
- 直近は反発も、2023年比では低水準

株式市場（IBEX35）

- 株価は上昇基調を維持
- 直近は約2万ポイント、高値圏での推移が続く
- 銀行株やエネルギー株が上昇をけん引



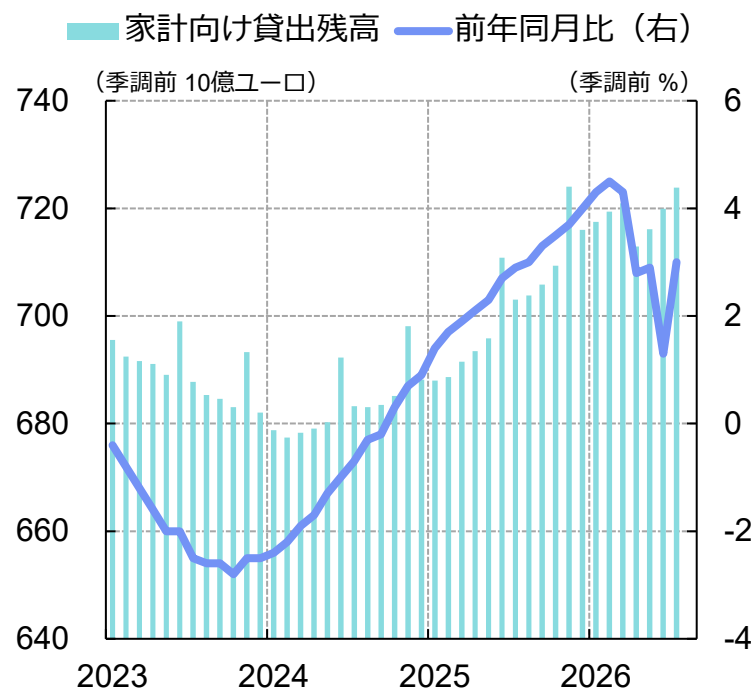
(出所：欧州中央銀行、BloombergよりSCGR作成)

信用・銀行

- 家計向け貸出は増加基調を維持し、7月は前年比3.0%増
- 住宅向け借入コストは低位で推移する一方、企業向け金利は上向き
- 不良債権比率は低下が続き、4～6月期は2.67%

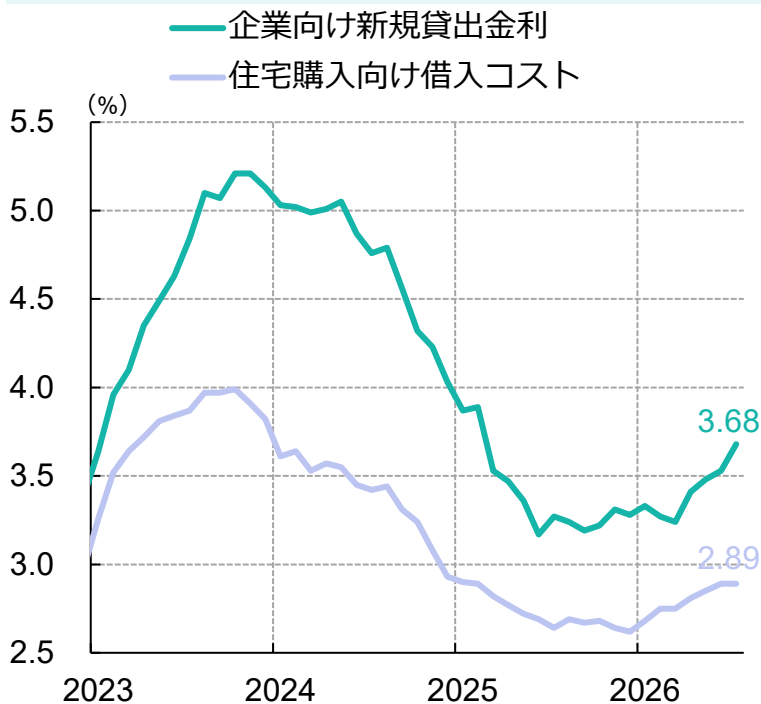
家計向け貸出

- 貸出残高は増加基調
- 7月は前年比3.0%増
- 2024年以降、前年比プラスが続く



新規貸出金利

- 企業向け貸出金利は上向き、7月は3.68%に上昇
- 住宅ローンは直近2.89%



銀行健全性

- 不良債権比率は2024年以降低下傾向
- 2026年4～6月期は2.67%

